

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	13-04-01	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	学校関係者評価（学校評議員制度、学校評価制度）	部課名	教育委員会事務局指導室	課長名	津野		
		担当者名	杉山・小林	内線	3389		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-05-01	学校評議員会					
	01-05-03	学校評価制度					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和 56年度		根拠	教育課題検討協議会設置要領、学校教育法、			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		法令等	荒川区学校評価制度実施要綱			
実施基準	<input checked="" type="radio"/> 法令基準内		<input type="radio"/> 都基準内	<input type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系	分野	II 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	09 地域と連携した学校づくり					
目的	<p>〈学校評議員制度〉 学校運営や教育内容等について、保護者や地域の意向を的確に把握し、それを反映させ、地域に開かれた学校づくりを推進するため、学校評議員制度を全小・中学校に導入する。</p> <p>〈学校評価制度〉 学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため、必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努める。</p>						
対象者等	区立小・中学校の児童生徒及び保護者・地域住民等						
内容	<p>〈学校評議員制度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会は学校評議員の委嘱を校長へ委任し、各校が委嘱する。</li> <li>・定例会は年間4回程度開催する。定例会では、学校からの現状報告、実践報告をもとに協議を行い、評価、改善を行う。</li> </ul> <p>〈学校評価制度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員、保護者・地域住民等、児童生徒を対象とする「学校評価アンケート」の実施</li> <li>・各学校の教職員自らが行う評価と改善方策による「自己評価」の実施（12月～1月）</li> <li>・自己評価の結果について評価する「学校関係者評価委員会による評価」の実施（1月～2月）</li> <li>・学校評価のとりまとめと改善方策の見直しによる「学校関係者評価」の総括（2月～3月）</li> <li>・学校評価アンケート及び自己評価並びに学校関係者評価の「評価結果及び改善方策」の公表・報告</li> <li>・教育委員会による支援・改善</li> </ul>						
経過	<p>平成20年度 荒川区学校評議員制度設置要綱を一部改正</p> <p>※学校教育法及び学校教育法施行規則の一部改正による、条文、名称の変更</p> <p>平成24年度 学校関係者評価の集計に、早稲田大学と連携して作成した集計用シートを導入</p> <p>平成27年度 荒川区学校評価制度実施要綱を一部改正</p> <p>令和元年度 荒川区学校評議員制度設置要綱を一部改正</p>						
必要性	荒川区立小・中学校が地域住民の信頼に応え、開かれた学校づくりを一層推進していくため、地域住民や保護者の意向を把握・反映してその協力を得るとともに、学校運営の状況等を周知して説明責任を果たすなど、地域住民の学校運営への参画の仕組みとする。						
実施方法	<p>（<input checked="" type="radio"/> 直営）（直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員）</p> <p>「荒川区学校評議員制度」設置要綱に基づいて委嘱した学校評議員を招聘し、年4回程度学校評議員会を開催し、学校運営の状況等について意見交換等の機会を設ける。</p>						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	① 評価組織の設置率（％）	100	100	100	100	100	実績／学校数（全34校）
	② 年4回以上の外部評価実施率（％）	100	100	100	100	100	実績／学校数（全34校）
③ 外部評価の公表率（％）	100	100	100	100	100	実績／学校数（全34校）	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
2年度	3年度	地域住民の信頼に応え、開かれた学校づくりを一層推進する。					
継続	継続						

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		1,180	1,198	1,184	1,198	1,224	1,260	1,260
決算額(2年度は見込み)		1,048	1,016	993	1,034	1,000	894	1,260
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)								
学校評議員会(実施回数)		4	4	4	4	4	4	4

  

予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	学校関係者評価委員謝金	649	報償費	学校関係者評価委員謝金	545	報償費	学校関係者評価委員謝金	770
需用費	当日賄・学校給食	351	需用費	当日賄・学校給食	349	需用費	当日賄・学校給食	490

行政コスト計算書	勘定科目	30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
		給与関係費	6,271	1,143		▲ 5,128	地方税	0
行政費用	物件費	351	349	▲ 2	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	649	545	▲ 104	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	347	66	▲ 281	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 7,618	▲ 2,103	5,515
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	7,618	2,103	▲ 5,515	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 7,618	▲ 2,103	5,515
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 7,618	▲ 2,103	5,515

備考 行政費用では、給与関係費に次いで評価委員への謝金として補助費が多く発生している。

問題点・課題 ・学校運営の改善を目指した学校評議員会の意見収集を行う必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	各校が自校の課題を捉え、地域や保護者の願いを聞き、学校運営の改善に活用できるよう指導・助言を行う。	学校評議員制度を活用し、地域や保護者の思いを取り入れながら、よりよい学校運営の改善を行うことができた。	各校が学校評議員と意見交換や協議を行い、学校運営の改善に活用することができるよう指導・助言を行う。
②			
③			

他地区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
--------	--------------------------

況議(会要質問状) 平成14年第1回定例議会 「地域住民参加による学校改革システムについて」  
 平成24年第4回定例議会 「コミュニティスクールに見られる子ども・学校・地域の連携について」

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	13-04-03	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	体験学習推進事業	部課名	教育委員会事務局指導室	課長名	津野		
		担当者名	康・小林	内線	3386・3389		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-09-01	体験型職業教育の推進					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和	12年度	根拠	学習指導要領			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	II	子育て教育都市				
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成				
	施策	03	体験学習等の推進				
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら課題をもち、自ら考え、自ら解決する等の「生きる力」を育成するためには、体験学習の機会を拡充することが求められている。自然体験、社会体験、勤労体験等の機会拡充を図る。</li> <li>・「総合的な学習の時間」等の学習単元として教育課程に位置付け、児童生徒一人一人が自己の生き方を考える啓発的体験として、教育活動全体の中で意図的・計画的に取り組む。</li> </ul>						
対象者等	区立小・中学校の児童生徒						
内容	<p>[体験型職業教育の推進] (1) 勤労体験プログラムの実施・平成19年度から、中学校においては、学校と幅広く企業等の協力を得て、一週間程度の集中した「勤労体験留学」を全校実施する。</p> <p>(2) 勤労留学（①職業講話→②職場訪問→③勤労留学（本プログラムの中核）→④新聞作成→⑤発表会・授業時間や夏休み等の1週間程度集中実施（一日6時間程度）・職業に対する興味・関心を高め、業種の内容や働くことの楽しさを学ぶ。・自己理解を深めるとともに進路に対する意識を高め、職業につくためにどのようなことが必要か学ぶ。・社会のルールやマナーの大切さを学ぶ。</p>						
経過	○体験型職業教育の推進 平成19年度から、勤労留学は全中学校にて5日間連続実施している。						
必要性	体験型職業教育の推進では、働くことの価値を体験を通して理解する。						
実施方法	（ <input checked="" type="radio"/> 直営）（直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員）						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	① 勤労留学実施率（%）	100	100	100	100	100	実施数／中学校数
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
2年度	3年度						
推進	推進	地域と連携し勤労留学を推進していく。					

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		5,319	5,320	5,337	5,181	4,532	3,854	3,754
決算額(2年度は見込み)		4,083	3,487	3,542	3,376	2,838	2,473	3,754
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)								
勤労体験留学実施校		10	10	10	10	10	10	10
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	事業所等謝金他	1,448	報償費	事業所等謝金他	1,261	報償費	事業所等謝金他	2,061
旅費	教員巡回旅費	5	旅費	教員巡回旅費	10	需要費	消耗品等	400
需用費	消耗品等	248	需要費	消耗品等	249	役務費	細菌検査料、保険料	486
役務費	細菌検査料、保険料	449	役務費	細菌検査料、保険料	439	負担金補助等	参加生徒交通費	807
負担金補助等	参加生徒交通費	688	負担金補助等	参加生徒交通費	514			

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		30年度	元年度	差額	行政収入	勘定科目		30年度	元年度	差額
	給与関係費		1,751	841	▲ 910		地方税		0	0	0
物件費		441	446	5	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		2,398	2,027	▲ 371	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		0	0	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		0	0	0		
賞与・退職給付引当金繰入額		97	49	▲ 48	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 4,687	▲ 3,363	1,324		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		4,687	3,363	▲ 1,324	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 4,687	▲ 3,363	1,324		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 4,687	▲ 3,363	1,324		

備考

行政費用では、生徒の職業教育活動に要する事業所等への謝金や交通費の負担金、さらには保険料に係る補助費が多く発生している。

問題点・課題

・活動の協力を得る事業所へ負担があることから、受入れ先の確保が課題となる。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一部の事業所等では受け入れが困難な状況が出てきている。

## 問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	東京都が受け入れ先として指定している施設についても学校へ情報提供し、受け入れ先を広げていく。	東京都、学校と密に連携を図り、実施率を維持できた。	新たな連携先を開拓し、受入れ先確保に努める。また、コロナ対策を実施しながら、可能な範囲で活動する。
②			
③			
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)		
状況	23全区において1日から5日間の中学生の職場体験学習を実施している。		
況議会(要旨)問状	平成17年第1回定例会 「生きる力の育成の取り組みについて」 平成29年予特 「勤労留学の5日間の実施について」		

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	13-04-05	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	清里移動教室	部課名	教育委員会事務局指導室	課長名	津野		
		担当者名	廣井・康	内線	3389		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-01-01	清里運営費					
	01-02-01	清里運営費					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和 58年度		根拠	小学校・中学校における宿泊を伴う「移動教室」の実施について（都通達）			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内		<input type="radio"/> 都基準内	<input checked="" type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系	分野	Ⅱ 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	03 体験学習等の推進					
目的	教育課程の一環として移動教室を実施することにより、児童生徒の自然に親しむ心を培い、自然環境及びその地域の独特の文化についての理解を深め、豊かな情感を養う。また、集団行動や集団生活を通じて、連帯感や責任感及び自主的な生活態度を育成する。						
対象者等	・小学校第5学年、中学校第1学年（全員） 【実施時期】前期5月～7月 後期9月～10月						
内容	<p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清里周辺施設高根クラインガルテン、須玉町農業体験施設での農業体験やほうとう作り、そば打ち体験、清泉寮及び清里駅周辺散策、飯盛山登山、学園での現地学習会、南牧村交流館見学、井戸尻考古館</li> <li>・入笠山登山・オリエンテーリング（清里少年自然の家～美し森展望台）・キャンプファイヤー</li> <li>・山梨県立科学館での見学、山梨県立考古博物館での火おこし体験や見学</li> </ul> <p>【運営経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食費（朝・昼・夕）、施設使用料、バス借上げ（小学校及び中学校各校3日間）、現地指導員謝金、引率教員・従事職員旅費、応急治療費、緊急乗用車借上げ、看護業務委託</li> </ul>						
経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和58年度から実施している。</li> <li>・令和2年度の中学校の移動教室は、3月から4月にかけての新型コロナウイルス感染防止の臨時休業に伴い、授業日数確保のため中止とした。</li> <li>・また、令和2年度の小学校移動教室も新型コロナウイルスの影響を受け、前期実施分（5月～7月まで）を後期（9月～11月）に延期し、合わせて実施するなどの検討を行ったが、7月中旬の時点で感染が収束する状況になく、一部の学校では宿泊施設において密集が解消できず、現地での医療体制も整わないことなどから中止とした。</li> </ul>						
必要性	児童生徒の自然に親しむ心を培い、自然環境及びその地域の独特の文化についての理解を深め、豊かな情感を養うため、また、集団生活を通じて、連帯感や責任感及び自主的な生活態度を育成するために必要である。						
実施方法	（ <input checked="" type="radio"/> 一部委託）（直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） ・看護業務委託（令和元年度委託料（決算額）1,926,676円（清里分964,080円））（株）ナイチンゲール						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	① 児童参加率（％）	98.3	100	99.7	0	100	参加者/在籍者（5月1日現在）の割合
	② 生徒参加率（％）	100	100	97.3	0	100	参加者/在籍者（5月1日現在）の割合
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
2年度	3年度						
継続	継続	学校の創意工夫を支援し、継続して実施する。					



予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		38,874	54,364	57,282	55,904	54,235	53,635	55,115
決算額(2年度は見込み)		37,652	43,964	44,705	40,621	40,617	38,470	55,115
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)								
実績の推移	小学校 参加児童数	1,338	1,344	1,313	1,414	1469	1464	1446
	バス借上げ台数(実踏含めず)	46	44	44	46	49	47	47
	中学校 参加生徒数	1,108	1,093	1,127	1096	1117	1036	0
	バス借上げ台数(実踏含めず)	37	38	40	37	37	37	0
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	現地指導員謝金	128	報償費	現地指導員謝金	160	報償費	現地指導員謝金	464
旅費	実地踏査、引率教員・従事職員旅費	419	旅費	実地踏査、引率教員・従事職員旅費	443	旅費	実地踏査、引率教員・従事職員旅費	1,379
需用費	児童用しおり、生徒読本	429	需用費	児童用しおり、生徒読本	449	需用費	児童用しおり、生徒読本	755
委託料	応急治療、看護業務委託費	1,041	委託料	応急治療、看護業務委託費	1,047	委託料	応急治療、看護業務委託費	1,618
使用料等	給食費、施設使用料、バス借上げ	38,601	使用料等	給食費、施設使用料、バス借上げ	36,371	使用料等	給食費、施設使用料、バス借上げ	50,899

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
		給与関係費	3,285	2,400		▲ 885	地方税	0
物件費	40,489	38,310	▲ 2,179	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	128	160	32	使用料及び手数料	0	0	0	
減価償却費	0	0	0	その他	4,995	5,023	28	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	4,995	5,023	28	
賞与・退職給与引当金繰入額	182	139	▲ 43	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 39,089	▲ 35,986	3,103	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	44,084	41,009	▲ 3,075	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 39,089	▲ 35,986	3,103	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 39,089	▲ 35,986	3,103	

備考

行政費用では委託料、役務費、需用費、使用料である物件費が多く発生している。一方、行政収入として、参加者の賄費等として4,994千円、治療に要した費用への給付金として29千円がある。

問題点・課題

・移動教室実施にあたっては、従来から児童及び生徒の安全や健康管理に十分留意し、特にアレルギーについては対応を強化してきた。今後は、新型コロナウイルスなど不測の事態も想定しつつ、可能な限りの対策を講じていく必要がある。  
・活動拠点となる宿舎や体育館の老朽化等により、安全上配慮を要する点については、発見次第、施設所管課との連携により計画的に対応する必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	アレルギー対応について、最新の注意、報告・連絡・相談を徹底し、関係者が組織的に対応に取り組む。	アレルギー対応については、学校からの情報を指定管理者に徹底し、アレルギー事故発生を防止することができた。	感染状況を見据えて中止も視野に実施スケジュール等を見直すなど、安心・安全な実施方法を検討する必要がある。
②	子どもが活動に集中できるように、環境の改善に取り組む。	学校と情報共有し、施設所管課と連携のうえ対応した。	施設等の老朽化については、今後、優先順位を設け担当所管課と協議対応していく。
③			
他区の実況	(実施 22 区)	未実施 0 区	不明 0 区)

議(要旨)問状

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	13-04-06	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	下田移動教室	部課名	教育委員会事務局指導室	課長名	津野		
		担当者名	康・小林	内線	3386・3389		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-01-02	下田運営費					
	01-02-02	下田運営費					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和 58年度		根拠	小学校・中学校における宿泊を伴う「移動教室」の実施について（都通達）			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内		<input type="radio"/> 都基準内	<input checked="" type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系	分野	II 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	03 体験学習等の推進					
目的	教育課程の一環として移動教室を実施することにより、児童生徒の自然に親しむ心を培い、自然環境及びその地域の独特の文化についての理解を深め、豊かな情感を養う。また、集団行動や集団生活を通じて、連帯感や責任感及び自主的な生活態度を育成する。						
対象者等	・小学校第6学年、中学校第2学年（全員） 【実施時期】前期5月～7月 後期9月～10月						
内容	<p>各小・中学校が児童生徒の実態に応じた教育活動を実施している。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>須崎～爪木崎ハイキング ・下田市内散策 ・寝姿山登山（ロープウェイ） ・河津七滝巡り</li> <li>外浦、爪木崎、恵比須島、まどが浜、田牛サンドスキー場等での磯生物観察、レクリエーション等</li> <li>あじの開き、海草押し葉、竹細工、シーカヤック等の体験学習 ・現地指導員学習会 ・魚市場見学</li> <li>施設見学等（下田海中水族館、小田原城址公園、柿田川湧水、修善寺サイクルスポーツセンター、地球博物館）</li> </ul> <p>【運営経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>給食費（朝・昼・夕）、バス借上げ（小学校及び中学校各校3日間）、現地指導員謝金、引率教員・従事職員旅費、応急治療費、緊急乗用車借上げ、看護業務委託（平成16年度から委託契約）、事務管理委託（令和元年度から委託契約）</li> </ul>						
経過	<p>昭和58年度 本事業開始</p> <p>昭和63年度 施設の改築</p> <p>平成元年度 小学校移動教室開始</p> <p>令和元年度 事務従事体制の変更</p> <p>令和2年度 新型コロナウイルス感染症拡大のため、小・中学校の実施を中止。</p>						
必要性	児童生徒の自然に親しむ心を培い、自然環境及びその地域の独特の文化についての理解を深め、豊かな情感を養うため、また、集団生活を通じて、連帯感や責任感と自主的な生活態度を育成するために必要である。						
実施方法	<p>（<input checked="" type="radio"/> 一部委託）（直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員）</p> <p>・看護業務委託（31年度委託料（決算額）1,926,676円（下田分962,596円）、(株)ナイチンゲール）</p>						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	① 児童参加率（%）	99.4	96.0	98.6	0	100	参加者/在籍者（5月1日現在）の割合
	② 生徒参加率（%）	97.3	94.3	96.8	0	100	参加者/在籍者（5月1日現在）の割合
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
2年度	3年度						
継続	継続	学校の創意工夫を支援し、継続して実施する。					

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		41,884	58,295	60,227	60,318	56,440	55,707	58,736
決算額(2年度は見込み)		39,957	45,985	45,788	43,856	42,581	41,615	58,736
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)								
実績の推移	小学校 参加児童数	1,377	1,334	1,357	1,326	1,414	1449	1510
	バス借上げ台数	46	46	44	45	49	49	49
	中学校 参加生徒数	1,055	1,046	1,039	1,058	1,073	983	1069
	バス借上げ台数	64	34	32	34	35	32	33

## 予算・決算の内訳

平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	現地指導員謝金	189	報償費	現地指導員謝金	171	報償費	現地指導員謝金	261
旅費	実地踏査・引率教員・従事職員旅費	618	旅費	実地踏査・引率教員・従事職員旅費	359	旅費	実地踏査・引率教員・従事職員旅費	1,715
需用費	児童用しおり・生徒用読本等	531	需用費	児童用しおり・生徒用読本等	512	需用費	児童用しおり・生徒用読本等	935
役務費	応急治療費	17	委託料	給食業務委託他	16,416	委託料	給食業務委託他	19,226
委託料	給食業務委託他	16,224	使用料等	バス・寝具借上げ等	24,157	使用料等	バス・寝具借上げ等	36,599
使用料等	バス・寝具借上げ等	25,001						

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
		給与関係費	3,158	3,609		▲451	地方税	0
物件費	42,392	41,444	▲948	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	189	171	▲18	使用料及び手数料	0	0	0	
減価償却費	0	0	0	その他	4,792	4,861	69	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	4,792	4,861	69	
賞与・退職給与引当金繰入額	175	209	34	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲41,122	▲40,572	550	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	45,914	45,433	▲481	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲41,122	▲40,572	550	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲41,122	▲40,572	550	

備考 行政費用では、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料である物件費が多く発生している。一方、行政収入として、参加者の賄費等として4,860千円がある。

- 問題点・課題
- ・熱中症対策も含め、児童生徒の事前・事後の健康管理を十分に行う必要がある。
  - ・下田臨海学園の施設及び設備の老朽化が進み、その対策が課題である。
  - ・新型コロナウイルスなど不測の事態も想定しつつ、可能な限りの対策を講じていく必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	児童生徒の安全確保のため、家庭や学校、学校間で連携を図り、体調管理や、行程等の必要な情報を収集し共有する。	事前の計画書の提出とともに、必要時に直接聞き取りを行い、円滑な事業運営に向けて対応策を共有した。	児童生徒の安全確保の視点から、家庭や学校または学校間で連携を図り、体調管理、行程等の必要な情報共有を推進する。
②	児童生徒が安全に安心して移動教室に参加できるよう、施設の修繕や環境整備について、担当所管課へ依頼し、計画的に取り組む。	担当所管課との情報共有を綿密に行い、急を要する状況にも円滑に対応することができた。	安全管理の視点から、関係所管課との確実な連携を図る。
③			感染状況を見据えて中止も視野に実施スケジュール等を見直すなど、安心・安全な実施方法を検討する必要がある。

他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

議(会)質(問)状



# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	13-04-07	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事		
事務事業名	習熟度別学習	部課名	教育委員会事務局指導室	課長名	津野			
		担当者名	原田・森戸・相馬	内線	3388・3381			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-06-01	習熟度別学習						
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和	13年度	根拠	荒川区学校教育ビジョン、荒川区学校教育ビジョン推進プラン				
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		令和3年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅱ	子育て教育都市					
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	01	確かな学力の定着・向上					
目的	児童生徒一人一人の理解の程度に応じた学習集団での指導体制を整え、指導を工夫することによって、児童生徒の能力や個性を伸ばし、確かな学力の定着・向上を図る。							
対象者等	区内小・中学校（34校）の児童生徒							
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導方法工夫改善に伴う習熟度別指導の展開に当たっては、児童生徒個々の習熟の程度に応じ、学級の枠を超え、学級数を越えた学習集団を編成して実施する。</li> <li>・展開に当たっては、基礎学力の向上「分かる喜び」と、個性や能力の伸長「伸びる喜び」を目指した学習指導を実施する。</li> <li>・学力差の出やすい教科において、学級集団とは別に児童生徒の習熟の程度に応じた学習集団を編成し、基礎学力の確かな定着と思考等の伸張を図る。</li> </ul>							
経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成14年度 小・中学校全校で習熟度別学習を行う。 11月 第三日暮里小学校にて研究発表会を実施 2月 峡田小学校にて習熟度別学習報告会を実施</li> <li>・平成15年度 中学校全校にて2教科において習熟度別学習を行う。 小学校4校（峡田・四峡・一日・三日）を重点校とし、習熟度別学習を行う。</li> <li>・平成16年度 小学校3校（峡田・四峡・三日）では、2教科で習熟度別学習を行う。</li> <li>・平成18年度 全小学校にて算数、全中学校にて数学及び英語において指導方法工夫改善に伴う習熟度別指導を実施</li> </ul>							
必要性								
実施方法	（ <input checked="" type="radio"/> 直営）（直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input checked="" type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 指導方法工夫改善に伴う習熟度別指導を行うため、加配教員及び時間講師を配置する。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	①	区学力調査 全国の平均正答率との差（小6算数）	-1.7	+1.4	+2.7	+3.0	+3.0	
	②	区学力調査 全国の平均正答率との差（中3数学）	-3.0	-2.6	+1.7	+2.0	+2.0	
③	区学力調査 全国の平均正答率との差（中3英語）	-2.5	-0.6	+1.5	+2.0	+2.0		
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度	3年度							
継続	継続	きめ細かい指導の充実と児童生徒の学力向上・定着を図る。						

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		11,647	21,189	22,148	21,716	22,751	22,939	24,014
決算額(2年度は見込み)		11,108	10,967	12,799	12,889	9,268	11,665	24,014
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)								
実施数(校)		34	34	34	34	34	34	34

(単位：千円)

平成30年度(決算)		令和元年度(決算)			令和2年度(予算)			
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	指導講師謝金(小)	6,218	報償費	指導講師謝金(小)	8,729	報酬	会計・臨時報酬(小・中)	17,010
	指導講師謝金(中)			指導講師謝金(中)		職員手当等	一般期末手当	2,234
需用費	消耗品(令達・小)	3,050	需用費	消耗品(令達・小)	2,936	旅費	通勤費	1,250
	消耗品(令達・中)			消耗品(令達・中)		需用費	消耗品(令達・小・中)	3,520

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額	
		給与関係費	1,544	1,559		15	地方税	0	0
	物件費	3,050	2,936	▲114	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	6,218	8,729	2,511	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	86	90	4	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲10,898	▲13,314	▲2,416	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	10,898	13,314	2,416	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲10,898	▲13,314	▲2,416	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲10,898	▲13,314	▲2,416	
備考	行政費用では、需用費の補助費が多く発生している。								
問題点・課題	・指導主事等が授業観察を行い、より効果的な指導方法について指導・助言することが必要である。								
問題点・課題の改善策									
	令和元年度に取り組む具体的な改善内容		令和元年度に実施した改善内容および評価			令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容			
①	計画的に学校訪問を行い、より効果的な授業方法やねらいが明確な授業を実施できるよう指導・助言を行う。		学校訪問時に、管理職及び当該教員に対して、適宜授業改善のポイント等を指導した。			学力調査等の分析から、子どもたちの実態に応じた授業等を実施するよう指導していく。			
②									
③									
他区の実況(要旨)	(実施	22	区	未実施	0	区	不明	0	区)

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	13-04-08	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事		
事務事業名	学力向上事業	部課名	教育委員会事務局指導室	課長名	津野			
		担当者名	松下・小林・岩永	内線	3388	3389		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-06-02	学力向上のための調査						
	01-06-04	基礎学力向上事業						
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和 14年度		根拠	区学力調査業務委託提案評価委員会設置要綱				
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和3年度年度		法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	II 子育て教育都市						
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成						
	施策	01 確かな学力の定着・向上						
目的	児童生徒の学習の到達度および学習に対する意識を客観的に把握することにより、指導内容や方法の改善や学校の教育計画の改善を図る。 また、生徒の基礎的・基本的な学力のさらなる向上、学習習慣の定着につなげる。							
対象者等	【学力向上のための調査】 区内小・中学生 【基礎学力向上事業】 区内中学1年生							
内容	<p>【学力向上のための調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査内容の構成・・・学習内容が身に付いているかどうかを把握する「学習到達度調査」と学習に対する意欲や態度がどのように養われているかを測る「学習意識調査」から構成し、2つの調査結果の関連から、毎年の児童生徒の学習状況の全体像を把握する。</li> <li>実施時期 令和2年度 7月末～8月上旬（学習到達度調査：小2～中3） 12月上旬～同中旬（学習到達度調査：小1、中1英語、学習意識調査：全学年）</li> <li>実施内容 小学校 標準学力調査（国語・算数）及び学習意識調査 中学校 標準学力調査（国語・数学・英語）及び学習意識調査</li> </ul> <p>【基礎学力向上事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏季休業中の10日間を利用し、区立中学1年生を対象に、英語、数学（算数）の短期集中型講座を一人ひとりの到達度に合わせて行う。※令和2年度は時期を12月末までに延長して実施</li> </ul>							
経過	平成14年度から実施。平成15年度から小学校第5学年及び中学校第2学年は社会・理科を加えて実施。平成17年度においては、東京都教育委員会指定校事業として「授業改善研究推進校」（尾久小学校・2ヵ年指定）及び国立教育政策研究所指定事業として「全国的かつ総合的な学力調査の実施にかかる研究指定校事業」（尾久八幡中学校・1ヵ年指定）を実施した。※「授業改善研究推進校」は平成18年度から「東京都研究指定校事業」において実施した。平成19年度は、「学力向上のための調査」評価検討委員会を設置し、平成20年度からの実施内容の検討を行った。平成22年度から、学力到達度調査の基礎・基本に関する内容に関しては、全国や都で実施した調査と、傾向において大きな差異がないため、活用問題（小は国語・算数、中は国語・数学）のみに改めた。平成25年度からは、全国学力調査の結果とより比較のしやすい標準学力調査、学習意識調査の実施に再び改めた。 基礎学力向上事業は、令和元年度よりモデル校2校で実施し、学力向上に一定の成果があったことから、令和2年度から全中学校に拡大して実施する。							
必要性	学力の向上を図るため、児童生徒の学習の定着状況を的確に把握し、授業改善を図っていくためにも本事業は必要である。							
実施方法	（ <input checked="" type="radio"/> 一部委託）（ <input type="radio"/> 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） ・学力向上のための調査業務委託（元年度委託料 24,628,964円（株）東京書籍） ・基礎学力向上事業業務委託（元年度委託料 907,200円（株）学研エル・スタッフィング）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み		目標値(8年度)
	①	区学力調査 全国の平均正答率との差（小6算数）	-1.7	+1.4	+2.7	+3.0	+3.0	
	②	区学力調査 全国の平均正答率との差（中3数学）	-3.0	-2.6	+1.7	+2.0	+2.0	
③	区学力調査 全国の平均正答率との差（中3英語）	-2.5	-0.6	+1.5	+2.0	+2.0		
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度		3年度						
継続		継続						
主体的な学びの推進と児童生徒の課題を把握し、実態に応じた授業改善を図るため活用する。								

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		48,994	56,417	46,144	36,709	32,316	36,194	34,215
決算額(2年度は見込み)		33,868	45,718	44,059	29,903	30,665	25,576	34,215
実績の推移	事項名(2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	外部委員謝金	40	報償費	外部委員謝金	40	旅費	先進自治体等視察	96
旅費	先進自治体等視察	61	旅費	先進自治体等視察	0	委託料	学力調査等業務委託	24,865
委託料	学力調査等業務委託	30,565	委託料	学力調査等業務委託	24,629	委託料	基礎学力向上事業	9,254
			委託料	基礎学力向上事業	907			

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
		給与関係費	2,894	1,247		▲ 1,647	地方税	0
物件費	30,626	25,536	▲ 5,090	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	40	40	0	使用料及び手数料	0	0	0	
減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
賞与・退職給与引当金繰入額	160	72	▲ 88	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 33,720	▲ 26,895	6,825	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	33,720	26,895	▲ 6,825	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 33,720	▲ 26,895	6,825	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 33,720	▲ 26,895	6,825	

備考

行政費用では、学力調査等の業務委託に25,536千円を要した。

問題点・課題

- ・調査結果を踏まえて、各学校において分析を行い児童生徒のつまずきを把握し、授業改善の手だて等について具体的な支援を行うことが必要である。
- ・児童生徒に基礎的、基本的な事項について定着させるとともに、主体的に学ぶ力を身に付けさせるよう、一人ひとりの教師の授業力の向上を目指し、年間をとおして指導・助言を行うことが必要である。
- ・新型コロナウイルス感染防止のための臨時休業の影響により、事業の実施時期を検討する必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	授業力の向上を図るため、授業に対する指導・助言を行うとともに、授業づくりにかかわる各研修会の充実を図る。	学校訪問の指導の際、その学校が抱えている課題解消に向けて、具体的な手だてを示した。	各校において、学力調査の結果・分析を行い、課題を把握し、授業改善を図るよう指導する。
②			臨時休業による授業の進捗の遅れや夏季休業の短縮を考慮した事業の実施を計画する。
③			
他区の実況	(実施) 0 区	未実施) 0 区	不明) 22 区)
議(要旨)問状			

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	13-04-11	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	小学校英語教育の推進	部課名	教育委員会事務局指導室	課長名	津野		
		担当者名	康・小林	内線	3386・3389		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-07-01	小学校英語教育の推進					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和 15年度		根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、			
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和3年度 年度		法令等	地方公務員特例法、小学校学習指導要領			
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input checked="" type="radio"/> 都基準内 <input type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	II 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	02 創意と工夫にあふれた教育の推進					
目的	荒川区の英語教育の基本的な考え方を「英語教育を充実し、国際コミュニケーション能力を育成する」とし、区が策定した指導指針のもと教育課程に英語の授業を位置付け、学級担任が音声教材を活用し、一部、英語教育アドバイザー、外国人英語指導員を活用した授業を行い、児童に英語による国際コミュニケーション能力を育成することを目的とする。						
対象者等	全小学校の児童						
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年から週1時間、学級担任が指導の主体となり、英語教育アドバイザーや外国人指導員と連携した授業を実施する。</li> <li>・教員研修（英語教育担当者研修、英語教育アドバイザー研修、実技研修、夏季集中研修）を行う。</li> <li>・授業づくりや外国人指導員との連携等、担任への支援を行う「英語教育アドバイザー」を全校に配置する。令和元年度は18人採用して24校に配置している。なお、報償費は1時間当たり3,200円である。</li> <li>・英語教育アドバイザーは、英語に堪能であるとともに、英語教育を進めるための知識・技能を有する者を採用する。</li> <li>・令和元年度に改訂した「荒川区小学校英語科指導指針」及び、新たに作成した「小学校英語科レスンプラン」に沿った学習指導を行う。</li> </ul>						
経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成15年度 「国際都市『あらかわ』の形成特区」として、荒川区全域が構造改革特別区域に認定されたことに伴い、小学校教育課程に英語科を設置した。『荒川区小学校英語科指導指針及び解説書』を策定</li> <li>・平成16年度 教育課程特例校として、区内全小学校全学年にて週1回の英語科授業を実施</li> <li>・平成25年度 『荒川区立学校 英語教育参考資料集 高学年版』を作成</li> <li>・平成26年度（～平成32年度） 教育課程特例校としての取組期間を更新</li> <li>・平成27年度（～平成29年度） 文部科学省から「英語教育強化地域拠点事業」に指定</li> <li>・平成28年度（～平成29年度） 東京都教育委員会から「英語教育推進地域」に指定</li> <li>荒川区小学校英語科指導指針の改訂（平成29年3月）</li> <li>・平成29年度から「あらかわモジュール35」を開発し、活用している。</li> <li>・令和2年度から小学校の5・6年生において年間70時間実施となる。</li> </ul>						
必要性	荒川区の次代を担う子どもたちが豊かな国際性を育むため、国際的な共通語である英語を小学校段階から学習することで国際コミュニケーション能力を育成することが必要である。						
実施方法	（ <input checked="" type="radio"/> 直営）（直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 英語の授業の中に、区教委が委嘱した英語教育アドバイザーと派遣事業者からの外国人英語指導員が加わり実施している。						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	① 実技研修会参加率（％）	100	100	100	100	100	学級担任数／実技研修回数
	② 区学力調査 全国の平均正答率との差（中3英語）	-2.5	-0.6	+1.5	+2.0	+2.0	
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
2年度	3年度						
重点的に推進	重点的に推進	「荒川区学校教育ビジョン」において国際コミュニケーション能力の育成を重点項目に掲げており、教員の一層の授業力向上により、英語指導の充実を図る。					



予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		47,860	48,227	48,289	49,942	50,052	51,454	60,463
決算額(2年度は見込み)		45,517	46,631	46,507	46,882	47,316	46,945	60,463
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)								
実施校		24	24	24	24	24	24	24

予算・決算の内訳

平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	アドバイザー及び研修会講師謝金	27,616	報償費	アドバイザー及び研修会講師謝金	27,227	報償費	アドバイザー及び研修会講師謝金	29,003
需用費	教材等購入(令達)	1,989	需用費	教材等購入(令達)	2,224	需用費	教材等購入(令達)	2,920
役務費	外国人指導員派遣	17,710	役務費	外国人指導員派遣	17,494	役務費	外国人指導員派遣	28,540

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
	行政費用	給与関係費	2,701	1,455	▲ 1,246		地方税	0	0
	物件費	19,699	19,719	20	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	27,616	27,227	▲ 389	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	150	84	▲ 66	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 50,166	▲ 48,485	1,681	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	50,166	48,485	▲ 1,681	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 50,166	▲ 48,485	1,681	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 50,166	▲ 48,485	1,681	

備考 行政費用では、アドバイザー及び研修会講師への謝金として補助費が多く発生している。また、次いで教材等購入に係る需用費としての物件費となっている。

問題点・課題

- ・小学校5・6学年で「外国語」が教科化。「聞くこと」「読むこと」「話すこと【やりとり・発表】」「書くこと」の4技能、5領域のバランスの良い育成
- ・中学校学習指導要領の改訂による小学校英語科と中学校英語科との円滑な接続。
- ・「荒川区小学校英語科指導指針」及び新学習指導要領に沿った年間指導計画案、レッスンプランに沿った学習指導の推進

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	新学習指導要領について、理解を深めるとともに、効果的な授業方法及び評価についての研修を行う。	学習指導要領の改訂で外国語が教科になることに伴い、荒川区小学校英語科指導指針を改定し、区として統一した指導計画を作成した。	区内で統一した英語教育を実施するためにレッスンプランに沿った学習指導を展開するよう研修を行う。
②	小学校教員、中学校英語教員、英語教育アドバイザーが小中の接続をねらった授業の在り方について研修を行う。	英語研究校の尾久第六小学校で公開授業研修会を実施し、担任とNEA、英語教育アドバイザーの役割について研修を深めた。	小学校と中学校の英語科の円滑な接続のための研修会を行い、中学校の新学習指導要領の内容を小学校教員に伝達する。
③	小学校英語教育において、新たに発行される教科書の効果的な使用方法について検討する。	採択教科書を基に、荒川区がこれまで積み重ねてきた英語教育から追加できる活動等を検討し、指導計画の中に反映させた。	英語実技研修会等において英語の4技能5領域における資質・能力について理解を深める研修を実施していく。

他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)  
うち、1年生から英語(外国語活動)を実施する区は19区である。

議(会)質(問)状

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	13-04-12	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	中学校英語教育の充実・強化	部課名	教育委員会事務局指導室	課長名	津野		
		担当者名	康・小林	内線	3386・3389		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-07-02	中学校英語教育の充実・強化					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和 59年度		根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律・			
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和3年度年度		法令等	教育公務員特別法・学習指導要領外国語			
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅱ 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	02 創意と工夫にあふれた教育の推進					
目的	各中学校に外国人英語指導員を派遣し、国際理解教育、英語教育の充実を図る。						
対象者等	全中学校の生徒						
内容	<p>・中学校英語教育の充実・強化の一環として、外国人英語指導員を全中学校に常駐させ、ネイティブスピーカーによる生きた英語に接することによって、生徒の国際コミュニケーション能力の向上を目指す。（学校教育ビジョン「1（4）英語教育を充実し、国際コミュニケーション能力を育成する」）</p>						
経過	<p>平成17年度：構造改革特別区域行研究開発学校設置事業のもと、英語科の授業時数を標準の週3時間から週4時間に拡大するとともに、中学校全校に、外国人指導員を各学習集団別に年間35時間派遣した。</p> <p>平成21年度：外国人英語指導員の配置を常駐型とし、週5日×32週とした。</p> <p>平成22年度：荒川区小中学校英語教育ハンドブックの作成、配布、活用。第七中学校を英語教育重点校とし、英語教育推進の拠点としての支援を行う。</p> <p>平成26年度：東京都教育委員会が中学校英語科教員海外派遣制度を開始する。</p> <p>平成27年度：文部科学省「英語教育強化地域拠点事業」の指定地域となる。第七中学校を研究校とする。</p> <p>平成29年度：文部科学省「英語教育強化地域拠点事業」の発表を研究発表会内で第七中学校が行った。</p> <p>平成31年度：中学3年生を対象に、英語検定の受験料補助を年1回行う。</p>						
必要性	外国人指導員の常駐化により、日常的に生徒が英語を使用する環境ができ、英語を使った国際的なコミュニケーション能力の育成につながっており、総合的な英語力の育成を進めていく上で、必要不可欠である。						
実施方法	<p>（<input checked="" type="radio"/> 直営）（直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員）</p> <p>英語の授業の中に、派遣事業者からの外国人英語指導員が加わり実施している。</p>						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	① 区学力調査 全国の平均正答率との差（中3英語基礎）	-2.3	-1.0	+0.8	+1.0	+2.0	
	② 区学力調査 全国の平均正答率との差（中3英語活用）	-3.2	+0.1	+3.3	+3.5	+3.5	
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
2年度	3年度						
推進	推進	「荒川区学校教育ビジョン」において国際コミュニケーション能力の育成を重点項目に掲げており、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の育成を推進していく。					

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		30,033	30,033	29,851	29,850	29,850	34,893	39,548
決算額(2年度は見込み)		29,101	28,251	26,248	27,323	27,097	28,647	39,548
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)								
実施校数		10	10	10	10	10	10	10
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	研修会講師謝金	260	報償費	研修会講師謝金	0	報償費	研修会講師謝金	260
需用費	教材等購入(重点校宛令達)	80	需用費	教材等購入(重点校宛令達)	0	需用費	教材等購入(重点校宛令達)	100
役務費	外国人指導員派遣	26,758	役務費	外国人指導員派遣	26,398	役務費	外国人指導員派遣	35,132
			負担金補助	英検補助	2,249	負担金補助	英検補助	4,056

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		30年度	元年度	差額	行政収入	勘定科目		30年度	元年度	差額
	給与関係費		2,219	1,455	▲764		地方税		0	0	0
物件費		26,837	26,398	▲439	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		260	2,249	1,989	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		0	0	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		0	0	0		
賞与・退職給与引当金繰入額		123	84	▲39	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲29,439	▲30,186	▲747		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		29,439	30,186	747	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲29,439	▲30,186	▲747		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲29,439	▲30,186	▲747		

備考

行政費用では、外国人指導員派遣及び教材費として物件費が多く発生している。

問題点・課題

- ・4技能(聞く・話す・読む・書く)の総合的な英語力の育成を図るため、教員の指導力向上が課題である。
- ・小学校と中学校の接続を意識した授業を構築するため相互理解を図るための研修等の充実が課題である。

## 問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	東京都が実施する研修について、未受講の教員、新採教員の履修を推進する。	東京都が実施する研修を未受講の教員全てに研修を受講させ、教員の指導力向上に努めた。	新学習指導要領移行期間の対応について、荒川区教育研究会英語科部会と連携して情報提供していく。
②	小・中交流会及び荒川区教育研究会英語部会と連携した合同研修会等において、円滑な接続に向けた研修を実施する。	中学校の研究授業を公開し、小中合同研修会を行った。小学校英語科指導指針の改訂時に中学校英語科の意見を反映した。	小学校英語科指導指針やレッスンプラン等小学校での英語の学習内容について中学校英語科教員へ周知する。
③			
他区の実況	(実施) 22 区	未実施) 0 区	不明) 0 区)
況(要旨)	いずれの区も各区の状況に応じた中学校の英語教育の充実と強化に向けた取組を行っている。		

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	13-04-15	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	研究指定校事業（国・都）	部課名	教育委員会事務局指導室	課長名	津野		
		担当者名	康・松下・小林・岩永	内線	3388・3389		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-02-01	国・東京都研究指定校事業					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和	16年度	根拠	東京都研究指定校事業設置要綱			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等				
実施基準	<input checked="" type="radio"/> 法令基準内		<input checked="" type="radio"/> 都基準内	<input type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系	分野	Ⅱ	子育て教育都市				
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成				
	施策	02	創意と工夫にあふれた教育の推進				
目的	国、都の研究を受けることで、全ての教科及び道徳等における指導の活性化につながるよう、学習指導、生徒指導の在り方について調査研究を行う。						
対象者等	当該校の児童生徒及び教員ほか						
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピック教育推進校事業指定校：区立幼稚園・こども園、各小中学校</li> <li>・オリンピック・パラリンピック教育推進事業（文化プログラム） （令和元年度）：第六瑞光小学校、第二峡田小学校（令和2年度）：第二峡田小、第四峡田小</li> <li>・オリンピック・パラリンピック教育推進事業（アワード校）（令和2年度）：第四峡田小</li> <li>・東京都道徳教育モデル校（平成30・令和元年度）：第四峡田小</li> <li>・プログラミング教育推進校（平成30・令和元年度）：第二日暮里小</li> <li>・就学前教育と小学校教育との一層の円滑な接続を図るための教育課程の研究・開発（令和元・2年度）：町屋幼稚園、第七峡田小</li> <li>・「法」に関する教育推進校事業（令和元、2年度）：第五峡田小</li> </ul>						
経過	《都研究指定校事業》※直近の指定校事業 ①スポーツ教育推進事業（平成25年度）尾久小、瑞光小、尾久西小、三日小、九中、尾久八幡中 ②東京都理科支援員等配置事業（平成24年度）二峡小、三峡小、九峡小、尾久小、大門小、一日小 ③言語能力向上推進事業（平成25年度）第一日暮里小・ひぐらし小・原中（平成26年度）ひぐらし小・原中（平成27年度）原中 ④学力向上パートナーシップ調査研究（平成26年度）ひぐらし小・諏訪台中 ⑤理数フロンティア校（平成26年度）汐入東小・第三中 ⑥オリンピックパラリンピック教育推進校（平成27年度）瑞光小・五峡小・尾久小・尾久西小・二日小・第四中・第七中・八幡中・諏訪台中 ⑦英語教育推進地域事業：荒川区（平成28・29年度） ⑧安全教育推進校：大門小（平成29年度）						
必要性	教育の充実を図るため、教員の指導力の向上を目指した研究活動を支援することが必要である。						
実施方法	（ <input checked="" type="radio"/> 直営）（直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員）						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	① 研究発表会参加率（%）	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	参加実績／想定定員
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
2年度	3年度						
継続	継続	研究指定校が先進的な研究に取り組むことにより、区全体に成果を普及し、教育水準の向上を目指す。					

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		5,509	8,030	23,140	24,234	14,095	16,800	15,750
決算額(2年度は見込み)		5,165	7,058	14,954	18,594	9,460	10,355	15,750
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)								
研究指定校		10	15	43	43	43	43	43
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	校内研修会講師謝金	6,461	報償費	校内研修会講師謝金	6,262	報償費	校内研修会講師謝金	7,536
需要費	消耗品購入等(各校宛令達)	1,832	旅費	研究大会参加旅費	958	旅費	視察旅費	685
役務費	スポーツテスト結果分析等	1	需要費	消耗品購入等(各校宛令達)	1,652	需要費	消耗品購入等(各校宛令達)	2,075
委託料	業務委託	30	役務費	手数料	18	役務費	手数料	110
備品購入費	スポーツ備品他	1,136	委託料	業務委託	484	委託料	業務委託	2,600
			使用料等	サンパール等使用料	1	使用料等	サンパール等使用料	125
			備品購入費	スポーツ備品他	980	備品購入費	スポーツ備品他	2,619

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
	物件費	2,999	4,094	1,095	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	9,459	11,729	2,270
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	6,461	6,262	▲ 199	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	9,459	11,729	2,270
	賞与・退職給与引当金繰入額	118	84	▲ 34	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 2,242	▲ 166	2,076
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	11,701	11,895	194	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 2,242	▲ 166	2,076
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 2,242	▲ 166	2,076

備考

行政費用では、各研究事業に要する補助費等、次いで物件費が多く発生している。一方これらの支出額については都支出金から同額の行政収入がある。

問題点・課題

- ・各校の研究成果を区内全小・中学校の授業改善と教員の指導力向上につなげていくことが求められる。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点も踏まえ、柔軟に事業を行う必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む 具体的な改善内容	令和元年度に実施した 改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	研究の成果を研究発表会や誌上发表で各学校に還元するとともに、各教員の授業力向上を図るため指導・助言を行う。	研究発表会を様々な研修に位置付け実施した結果、多くの先生が参加でき、異校種の取組の理解につながった。	各校園の取組を区内の多くの先生に伝えるため、今年度同様、関係する研修会に位置付ける。
②			研究発表会等の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を念頭に、各学校と入念に検討を行う。
③			
他区の実況	(実施 22 区)	未実施 0 区	不明 0 区)
議(要旨)問状			



# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	13-04-16	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	人権尊重教育推進校	部課名	教育委員会事務局指導室	課長名	津野		
		担当者名	原田・岩永	内線	3388		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-05-02	人権尊重教育推進校					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和 3年度		根拠	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		法令等	東京都人権施策推進指針			
実施基準	<input checked="" type="radio"/> 法令基準内		<input type="radio"/> 都基準内	<input type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系	分野	II 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	02 創意と工夫にあふれた教育の推進					
目的	東京都人権施策推進指針及び都教育委員会の教育目標、基本方針に基づき、人権尊重の理念を広く社会に定着させ、あらゆる偏見や差別の解消を目指すとともに、人権教育を一層充実させるため、都教育委員会が推進校を指定し、実施する。						
対象者等	令和元年度推進校4校（小学校3校…瑞光小、第六瑞光小、第二峡田小、中学校1校…第一中）の児童生徒・教員及び保護者						
内容	<p>推進校がそれぞれ、校内研究会、全国大会への参加等を通して人権教育を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・瑞光小……………「つながり」を大切にしたい人権教育</li> <li>・第六瑞光小……………「思いやりの心を尊重し、自己実現できる児童の育成」 －主体的な学びを通して－</li> <li>・第二峡田小……………「自他を認め、高め合う二峡の子」－人権感覚の向上を目指して－</li> <li>・第一中……………「互いに尊敬しあい、高めあいながら進んで社会に貢献できる生徒の育成」 －人権意識の向上と実践力の育成を目指して－</li> </ul> <p>設定した研究主題に基づき、研究授業を行い、招聘した講師から指導を受け、実践の成果と課題を整理していく。また研究の推進に当たっては、都教育委員会からの指導訪問を受け、その進捗状況を伝えるとともに、研究の進め方や日常における人権教育について指導を受ける。</p>						
経過	平成12年度から、東京都予算事務規則に基づく委任制度の廃止により、区の事業として予算計上する。平成17年度から、推進校を8校から現在の4校（小学校3校…瑞光小、第六瑞光小、第二峡田小、中学校1校…第一中）とする。						
必要性	互いに認め合う教育を推進するため、一層の充実が必要である。						
実施方法	（ <input checked="" type="radio"/> 直営）（直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員）						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	① 推進校指定率（％）	11.8	11.8	11.8	11.8	11.8	推進校指定数／小・中学校34校
	② あいさつをする小学生の割合（％）	80.6	78.2	77.4	80.0	90.0	自分からすると答えた割合 区学習意識調査の結果から
③ あいさつをする中学生の割合（％）	74.3	71.3	74.3	77.0	85.0	自分からすると答えた割合 区学習意識調査の結果から	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
2年度	3年度						
継続	継続	互いに認め合う教育の一層の推進を図り、児童生徒の人権教育のさらなる向上を目指す。					

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		1,428	1,460	1,455	1,428	1,428	1,428	1,428
決算額(2年度は見込み)		1,398	1,391	1,358	1,362	1,278	1,373	1,428
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)								
推進校数		4	4	4	4	4	4	4
・小学校		3	3	3	3	3	3	3
・中学校		1	1	1	1	1	1	1

予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	校内研修会講師謝金	489	報償費	校内研修会講師謝金	468	報償費	校内研修会講師謝金	636
需用費	消耗品購入等(各校宛令達)	744	需用費	消耗品購入等(各校宛令達)	865	需用費	消耗品購入等(各校宛令達)	747
負担金補助等	研究大会参加費	45	負担金補助等	研究大会参加費	40	負担金補助等	研究大会参加費	45

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		30年度	元年度	差額	行政収入	勘定科目		30年度	元年度	差額
	給与関係費		386	727	341		地方税		0	0	0
物件費		744	865	121	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		1,148	▲201	▲1,349		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		534	508	▲26	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		0	0	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		1,148	▲201	▲1,349		
賞与・退職給与引当金繰入額		21	42	21	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲537	▲2,343	▲1,806		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		1,685	2,142	457	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲537	▲2,343	▲1,806		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲537	▲2,343	▲1,806		

備考

行政費用では、事業に要する物件費、補助費が多く発生しているが、これらの支出額については都支出金からの行政収入がある。

問題点・課題

・本事業の教育効果を維持するため、継続的に人権尊重のための教育ができる教員を育てていく必要がある。  
・新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点も踏まえ、柔軟に対応する必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	人権教育担当の教員を対象とする研修において、区及び区周辺のフィールドワークを実施し、人権教育の推進を図る。	人権教育研修会において、荒川区及び台東区周辺のフィールドワークを実施し、地域の特性や人権教育の理解を図ることができた。	人権教育プログラムを活用した研修内容の改善を図り、具体的な実施例を取り上げ、学校教育全体で人権教育を推進する。
②			研修の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止音観点から、その適否を踏まえ実施する。
③			

実施状況	(実施)	17区	未実施	5区	不明	0区
他区の実況	東京都の指定	区市立学校46校 町村立学校1校 都立学校4校	未実施	5区 (小学校33校 中学校・中等教育学校・義務教育学校13校) (小学校1校 中学校0校) (高等学校3校 特別支援学校1校)		

議(要旨)問状

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	13-04-22	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	教育研究会補助	部課名	教育委員会事務局指導室	課長名	津野		
		担当者名	廣井・原田	内線	3389		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-08-02	教育研究会補助					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和 58年度		根拠	荒川区教育研究会補助金交付要綱、荒川区立学校関係団体補助金交付要綱			
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和3年度		法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	II 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	05 魅力ある教師の育成					
目的	荒川区立学校の教職員相互が行う調査及び研究、並びに区立学校教育関係団体が行う調査及び研究に対し助成を行い、教職員の資質の向上を図ることにより、荒川区の教育のより一層のレベルアップを目指す。						
対象者等	(1)教育研究会補助：荒川区立学校に勤務する教職員約770名を会員とする「荒川区教育研究会」 (2)学校教育関係団体補助：校（園）長会、副校（園）長会等、栄養士、事務職員の組織						
内容	(1)教育研究会補助 「荒川区教育研究会」が行う以下の活動に対して、助成を行う。 ・幼・小・中の各教科ごとの21部会及び幼・小・中合同の15の部会、計36の研究部会が、それぞれ行っている研究（講師を招いての研修等） ・各部会の行う研究発表、本教育研究会が開催する講演会 ・研究誌作成のための助成 (2)学校教育関係団体補助 職域ごとに組織された学校教育関係団体が行う、各々の研究・研修活動における講師謝礼経費の支出を対象に補助する。						
経過	(1)教育研究会補助 「荒川区教育研究会」は、昭和7年10月に区内の小学校教員を構成員とする研究団体として発足し、翌昭和8年1月に荒川区長を会長とする教育振興団体「荒川教育会」の研究調査部門として位置付けられ、終戦まで存続。戦後、教職員組合の研究会としたが、昭和32年5月、組合から分離独立し、区内の全教職員を構成員とする自主的な研究団体として、現在に至る。 (2)学校教育関係団体補助 昭和59年から助成団体が下記のとおり推移している。 昭和59年度12団体→平成10年度10団体→平成12年度9団体→平成15年度8団体→平成29年度9団体 ※平成24年度まで教育総務課で事務を行っていたが、指導室で実施している教員に対する研修と重なる部分もあり、必要性等含め、十分な検討と総合的な見直しを実施するため、平成25年度から指導室へ移管された。						
必要性	教職員の能力を高め、荒川区の教育の向上を図るため必要である。						
実施方法	（ <input checked="" type="radio"/> 直営）（直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input checked="" type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 荒川区教育研究会・・・幼・小・中の全教職員で会を構成 荒川区教育研究会の予算は、会員の会費と区の補助金による。						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	① 参加者数（人）	411	588	456	512	512	補助対象講習会への延べ参加者数
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
2年度	3年度						
推進	推進	教職員自らの創意工夫を生かした教員研修を支援する。					

予算・決算額等の推移	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額	4,220	4,220	4,220	4,219	4,219	4,219	4,219
決算額(2年度は見込み)	4,031	3,988	4,112	4,108	4,163	4,011	4,219
実績の推移	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)							
(1)教育研究会補助：研究誌発行	1	1	1	1	1	1	1
(2)学校教育関係団体補助：補助団体数	5	4	6	9	9	9	9
(3)学校教育関係団体補助事業回数	15	13	15	17	17	18	18
学校教育関係団体補助：決算額	336	293	417	390	417	339	524

予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
負担金補助等	教育研究会及び各団体補助	4,163	負担金補助等	教育研究会及び各団体補助	4,011	負担金補助等	教育研究会及び各団体補助	4,219

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
		給与関係費	675	935		260	地方税	0
行政費用	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	4,163	4,011	▲152	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	37	54	17	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲4,875	▲5,000	▲125
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	4,875	5,000	125	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲4,875	▲5,000	▲125
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲4,875	▲5,000	▲125

備考

行政費用では、各団体への補助が多くなっている。

問題点・課題

教職員相互の自主的な研修は、より問題意識を持ち、課題に取り組むことができるため大変有意義であり、引き続き補助を行っていく必要がある。一方、多様化及び複雑化する教育環境に迅速に対応していくためには、研修の質の確保が重要であり、優秀な講師の選定が課題となる。

## 問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	各団体に適正に財政上の補助を行い、調査・研究を支援することを通じ、教員の資質向上を図る。	各教科等の担当する指導主事が分科会に参加し、情報提供や指導及び講評を行った。	調査・研究の支援の他に、優秀な講師を招へいするため、指導室及び学校が連携し講師を選定していく。
②			
③			
他区の実況	(実施) 22 区	未実施 0 区	不明 0 区)
議(要旨)質問状			

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード		13-04-23		戦略プラン		○協働 ○業務 ○財務 ○人事		
事務事業名		研究指定校事業（区）		部課名		教育委員会事務局指導室		
				担当者名		松下・小林		
				課長名		津野		
				内線		3388・3389		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）		01-02-03		区研究指定校事業				
事務事業の種類		○新規事業（○2年度 ○元年度）		○建設事業		●それ以外の継続事業		
開始年度		○昭和 ●平成 ○令和 19年度		根拠法令等		教育委員会教育研究指定校（園）実施要綱		
終期設定		●有 ○無		令和3年度年度				
実施基準		○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分		●計画 ○非計画		
行政評価事業体系		分野 II		子育て教育都市				
		政策 04		心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成				
		施策 05		魅力ある教師の育成				
目的		区内各学校（園）が抱える教育課題について実践研究を行い、実践研究の成果を積極的に公表することにより、教員の資質向上と教育課題の解決を図り、もって、学校（園）における教育の質的向上を図る。						
対象者等		区立幼・小・中学校						
内容		授業力向上に向けた、学校独自の研究計画に基づき、優れた企画を提案した学校を審査により選定し、必要な予算措置を行い研究を支援する。なお、荒川区教育委員会教育研究指定校は、その必要性の高さ、具体性、効果を審査して決定している。 令和2年度は、南二幼、汐入こども園、峡田小、尾久六小、赤土小、一日小、三日小、三中で実施している。						
経過		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成19年度から実施【実施校】</li> <li>・平成26年度は、尾久二幼、東日幼、峡田小、七峡小、尾久六小、二日小、三日小、諏訪台中</li> <li>・平成27年度は、尾久第二幼、町屋幼、峡田小、第七峡田小、第九峡田小、尾久小、大門小、尾久宮前小、第二日暮里小、第三日暮里小、ひぐらし小、諏訪台中</li> <li>・平成28年度は、町屋幼、峡田小、三峡小、七峡小、九峡小、尾久小、赤土小、大門小、尾久宮前小、一日小、第三日暮里小、ひぐらし小、三中、五中、七中、第九中、原中、諏訪台中</li> <li>・平成29年度は、尾久幼、峡田小、赤土小、第一日暮里小、第三日暮里小、第三中、第五中、第七中、第九中、原中</li> <li>・平成30年度は、尾久幼、南三幼、汐入小、汐入東小、峡田小、尾久小、三中、原中</li> <li>・令和元年度は、南三幼、汐入小、汐入東小、峡田小、尾久小、尾久六小、一日小、三中、原中</li> </ul>						
必要性		教育の成否は、学校教育の担い手である教員一人一人の資質・能力に負うところが極めて大きい。すべての児童生徒及び幼児に確かな学力を身に付け、豊かな心を育ませるためには、高い志と豊かな感性を兼ね備え、優れた実践に裏付けられた指導力をもった教員の育成が急務である。						
実施方法		（1直営）（直営の場合 ●常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 専門家による授業観察、ワークショップ、指導助言、研究協議等、区教育研究指定校事業の企画に従い、外部人材を講師として招聘する。						
指   標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	① 校内研修会の実施		100	100	100	100	100	
	② 発表年での研究発表の実施		100	100	100	-	100	
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度		3年度						
推進		推進		企画提案を受け、校内研修の充実を図る。				



予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		2,380	2,280	2,280	3,400	2,529	2,139	1,829
決算額(2年度は見込み)		2,169	2,053	1,928	2,157	1,285	1,403	1,829
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)								
実施校(園)数		9	12	18	10	8	9	8
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	指導講師謝金	707	報償費	指導講師謝金	843	報償費	指導講師謝金	1,300
需用費	消耗品購入(各校宛令達)	578	需用費	消耗品購入(各校宛令達)	560	需用費	消耗品購入(各校宛令達)	529

行政コスト計算書	勘定科目		30年度	元年度	差額	行政収入	勘定科目		30年度	元年度	差額
	給与関係費		482	935	453		地方税		0	0	0
物件費		578	560	▲18	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		707	843	136	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		0	0	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		0	0	0		
賞与・退職給与引当金繰入額		27	54	27	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲1,794	▲2,392	▲598		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		1,794	2,392	598	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲1,794	▲2,392	▲598		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲1,794	▲2,392	▲598		

備考

行政費用では、指導講師の謝金として補助費が多く発生しており、次いで、物件費が多くなっている。

問題点・課題

- 各学校、区の課題の効果的な解決に向けて適切な研究内容を精査し、その進捗についても指導・助言を継続して行い、成果を普及していく必要がある。
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点も踏まえ、柔軟に事業を行う必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	各校の課題や区としての課題が解決されることをねらい、指導・助言を行うとともに、研究指定校の成果の普及に努める。	荒川区の重要施策である英語教育推進を図るため、英語教育を研究する重点校を定めた。	特に研究を進める必要がある重要な教育課題に対して、指定校を募集し、区の課題解決を図る。
②			校内研究会等の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大の防止を念頭に、各校と入念に検討を行う。
③			
他区の実況	(実施) 0 区	未実施) 0 区	不明) 22 区)
議(要旨)問状			

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	13-04-25	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事		
事務事業名	学校パワーアップ事業（学力向上 マニフェスト事業）	部課名	教育委員会事務局指導室	課長名	津野			
		担当者名	小林・原田・杉山	内線	3389			
事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード（2年度）	01-12-01	学力向上マニフェスト事業						
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和	20年度	根拠	荒川区学校教育ビジョン				
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	令和3年度	法令等	荒川区学校教育ビジョン推進プラン				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内	<input type="radio"/> 都基準内	<input checked="" type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画	<input type="radio"/> 非計画		
行政評価 事業体系	分野	Ⅱ	子育て教育都市					
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	01	確かな学力の定着・向上					
目的	学校教育ビジョンー全力で育てます！未来社会の守護者たちーによる学校教育の実現に積極的に取り組むため、各校が特色ある学校づくりを推進することにより、学校の活力の向上や活性化が図られ、もって本区の教育の振興に資する。							
対象者等	区立全小・中学校							
内容	平成29年3月に荒川区学校教育ビジョンを策定し、学校教育ビジョンによる学校教育の実現に向けた積極的な取組の一環として、校長の学校経営方針を実現させるために、「学力向上マニフェスト」・「創造力あふれる教育の推進」・「未来を拓く子どもの育成」を通じて、校長の裁量を大幅に拡大し、各学校の活力の向上や活性化を図る。 「学力向上マニフェスト」については、各学校長が学校経営方針に基づき、教員の授業力向上策や子どもの学力向上策等、確かな学力の定着・向上を図るための取組を行う。							
経過	平成19年3月 学校教育ビジョンー「教育の荒川区」宣言！ーを策定 平成20年4月 本事業開始 平成26年度 外部講師派遣事業・街の先生教室の2事業を学力向上マニフェスト事業に統合し、ティーチングアシスタント事業は、「あらかわ寺子屋」として実施。 平成27年度 街の先生教室を学力向上マニフェスト事業から創造力あふれる教育の推進事業へ移管。 平成29年3月 学校教育ビジョンー全力で育てます！未来社会の守護者たちーを策定（改訂） 平成30年2月 学校教育ビジョン 学びの推進プラン 第1期 平成30年度～平成32年度を策定							
必要性	荒川区学校教育ビジョンによる「校長の裁量を生かし、特色ある学校経営を推進する」ため、校長が十分にリーダーシップを発揮し、創意・工夫ある教育課程を編成して特色ある学校をつくる上で必要である。							
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 各小・中学校あて予算を再配当（令達）して事業を実施している。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			29年度	30年度	元年度	2年度 見込み	目標値 (8年度)	
	①	区学力調査 全国の平均正答率との差（小6算数）	-1.7	+1.4	+2.7	+3.0	+3.0	
	②	区学力調査 全国の平均正答率との差（中3数学）	-3.0	-2.6	+1.7	+2.0	+2.0	
③	区学力調査 全国の平均正答率との差（中3英語）	-2.5	-0.6	+1.5	+2.0	+2.0		
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度		3年度						
重点的に推進	重点的に推進	区学力調査の結果等から、各学校が自校の学力向上への課題を見出し、課題の解決に向けた学力向上策を講じるよう促す。						

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		39,693	55,307	53,395	53,405	53,405	53,464	53,464
決算額(2年度は見込み)		34,509	43,177	45,654	45,942	46,330	44,071	53,464
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)								
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	講師謝金(各校宛令達)	30,402	報償費	講師謝金(各校宛令達)	28,445	報償費	講師謝金(各校宛令達)	36,633
旅費	大会参加等旅費(各校宛令達)	135	旅費	大会参加等旅費(各校宛令達)	135	旅費	大会参加等旅費(各校宛令達)	10
需用費	消耗品等(各校宛令達)	11,608	需用費	消耗品等(各校宛令達)	10,923	需用費	消耗品等(各校宛令達)	11,689
役務費	検定試験料等(各校宛令達)	722	役務費	検定試験料等(各校宛令達)	1,229	役務費	手数料等(各校宛令達)	1,501
使用料等	会場使用料等(各校宛令達)	1,549	委託料・使用料等	会場使用料等、委託(各校令達)	2,112	委託料・使用料等	会場使用料等、委託(各校令達)	1,607
備品購入費	備品購入(各校宛令達)	1,783	備品購入費	備品購入(各校宛令達)	1,097	備品購入費	備品購入(各校宛令達)	1,783
負担金補助等	大会参加費(各校宛令達)	132	負担金補助等	大会参加費(各校宛令達)	130	負担金補助等	大会参加費(各校宛令達)	241

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
		給与関係費	2,026	2,910		884	地方税	0
物件費	15,796	15,496	▲ 300	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	0	0	0	都支出金	11,665	10,958	▲ 707	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	30,534	28,575	▲ 1,959	使用料及び手数料	0	0	0	
減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	11,665	10,958	▲ 707	
賞与・退職給与引当金繰入額	112	168	56	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 36,803	▲ 36,191	612	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	48,468	47,149	▲ 1,319	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 36,803	▲ 36,191	612	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 36,803	▲ 36,191	612	

備考 行政費用では、講師謝金等として補助費を多く要しており、次いで需用費・使用料等を始めとした物件費となっている。

問題点・課題  
 ○学校教育ビジョンのもと、各方策を実施していくよう事業の内容を精査する必要がある。  
 ○区学力調査等から見出される課題の解決に向けた方策の立案、実施が求められる。  
 ○新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて柔軟な事業執行を図る必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む 具体的な改善内容	令和元年度に実施した 改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	各方策が学校教育ビジョンの具現化に向けて、より効果的な内容になるようにする。	各方策の学校教育ビジョンでの位置付けを確認し、ヒアリングを通じて内容の精査を行い、改善点を指導・助言した。	引き続き、各方策が学校教育ビジョンの具現化に向けて、より効果的な内容になるようにする。
②	各方策が区学力調査等から見出される課題の解決につながるよう精査・改善に取り組む。	ヒアリング後、提案された各方策を精査し、改善点を学校に指導・助言し、事業の精度を高めた。	区学力調査等から見出される課題の解決につながるよう各方策を精査し、学力向上に引き続き取り組む。
③			新型コロナウイルスの感染状況に応じて、児童生徒のみならず学校現場に負担がかからないよう、事業を進めていく。

他区の実況 (実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)

況議(会要質問状) 平成20年第1回定例会 「学力マニフェストとはどのようなものか」  
 平成22年第2回定例会 「学校パワーアップ事業」の今後の見通しを問う。

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	13-04-26	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事		
事務事業名	学校パワーアップ事業(創造力あふれる教育の推進)	部課名	教育委員会事務局指導室	課長名	津野			
		担当者名	小林・原田	内線	3389			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード(2年度)	01-12-02	創造力あふれる教育の推進事業						
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業 ( <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度 )		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和 20年度	根拠	荒川区教育ビジョン					
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和3年度 年度	法令等	荒川区教育ビジョン推進プラン					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内	<input type="radio"/> 都基準内	<input checked="" type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅱ	子育て教育都市					
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	02	創意と工夫にあふれた教育の推進					
目的	学校教育ビジョンによる学校教育の実現に積極的に取り組むため、各学校及び幼稚園・こども園が特色ある学校づくりを推進することにより、各学校の活力の向上や活性化が図られ、もって本区の教育の振興に資する。							
対象者等	区立全小・中学校							
内容	平成29年3月に荒川区学校教育ビジョンを策定し、学校教育ビジョンによる学校教育の実現に向けた積極的な取組の一環として、校(園)長の学校経営方針を実現させるために、「学力向上マニフェスト」・「創造力あふれる教育の推進」・「未来を拓く子どもの育成」を通じて、校(園)長の裁量を大幅に拡大し、各学校及び幼稚園・こども園の活力の向上や活性化を図る。 「創造力あふれる教育の推進」については、学校教育ビジョンの掲げる心の教育、健康や体力づくり、地域社会と一体となった教育を推進するために、各学校の特色ある教育活動をより充実・活性化させる取組を行う。							
経過	平成19年3月 学校教育ビジョンー「教育の荒川区」宣言！ーを策定 平成20年4月 本事業開始 平成27年度 「ふれあい教育の推進」で始めた「街の先生教室」事業を、学力向上マニフェスト事業から創造力あふれる教育の推進事業へ移管。 平成29年3月 学校教育ビジョンー全力で育てます！未来社会の守護者たちーを策定(改訂) 平成30年2月 学校教育ビジョン 学びの推進プラン 第1期 平成30年度～平成32年度							
必要性	学校教育ビジョンによる「校長の裁量を生かし、特色ある学校経営を推進する」ため、校(園)長が十分にリーダーシップを発揮し、創意・工夫ある教育課程を編成して特色ある学校(園)をつくる上で必要である。							
実施方法	( <input checked="" type="radio"/> 一部委託 ) ( 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員 ) ・各小中学校あて予算を再配当(令達)して事業を実施している。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	①	健康や体力づくりに関する指標(小6)	59.5	60.2	60.6	-	61	東京都児童・生徒の体力・運動能力等調査の体力合計点の平均
	②	健康や体力づくりに関する指標(中3)	46.6	47	47.5	-	48	東京都児童・生徒の体力・運動能力等調査の体力合計点の平均
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度		3年度						
継続		継続		各学校が、学校教育ビジョンに基づいて、創意ある事業展開をするよう促す。				

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		34,000	35,640	35,644	35,668	35,668	35,688	35,652
決算額(2年度は見込み)		32,761	34,299	33,941	33,303	33,635	30,713	35,652
実績の推移	事項名(2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	講師謝金(各校宛令達)	9,984	報償費	講師謝金(各校宛令達)	10,050	報償費	講師謝金(各校宛令達)	11,352
需用費	消耗品等(各校宛令達)	12,873	需用費	消耗品等(各校宛令達)	9,892	旅費	研究会参加等旅費(各校宛令達)	10
役務費	保険料等(各校宛令達)	1,444	役務費	保険料等(各校宛令達)	1,676	需用費	消耗品等(各校宛令達)	13,483
委託料	演劇鑑賞教室等(各校宛令達)	100	委託料	演劇鑑賞教室等(各校宛令達)	381	役務費	保険料等(各校宛令達)	1,991
使用料等	会場使用料、バス借上げ料等(各校宛令達)	2,176	使用料等	会場使用料、バス借上げ料等(各校宛令達)	3,434	委託料・使用料等	演劇鑑賞教室等、会場使用料、バス借上げ料等(各校宛令達)	3,626
備品購入費	備品購入(各校宛令達)	6,984	備品購入費	備品購入(各校宛令達)	5,088	備品購入費	備品購入(各校宛令達)	5,101
負担金補助等	研究会参加費等(各校宛令達)	73	負担金補助等	研究会参加費等(各校宛令達)	192	負担金補助等	研究会参加費等(各校宛令達)	89

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
		給与関係費	965	1,663		698	地方税	0
物件費	23,469	20,377	▲ 3,092	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	108	93	▲ 15	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	10,057	10,242	185	使用料及び手数料	0	0	0	
減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
賞与・退職給与引当金繰入額	53	96	43	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 34,652	▲ 32,471	2,181	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	34,652	32,471	▲ 2,181	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 34,652	▲ 32,471	2,181	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 34,652	▲ 32,471	2,181	

備考 行政費用では、需用費や使用料等として物件費、次いで講師謝金等を始めとした補助費が多く発生している。

問題点・課題

- ・学校教育ビジョンの具現化を目指した事業内容としていくことが求められる。
- ・学校からの新たな方策、提案についてはその目的をよく確認、理解した上で支援していく姿勢が必要である。
- ・学校間の情報共有を深め、相乗効果が得られる環境構築を目指す視点が必要である。
- ・新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて柔軟な事業執行を図る必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	ヒアリング等を活用し、学校教育ビジョンの具現化に向けて事業内容を点検・改善する。	ヒアリング等を活用し、学校教育ビジョンの具現化に向けて事業内容を点検・改善する。	ヒアリング等を通じて、各方策が学校教育ビジョンの具現化に沿っているか精査する。
②	ヒアリングにおいて事業内容を精査し、新方策による事業の活性化を支援する。	新方策については、ヒアリングで内容を確認の上、指導・助言し、実施可能と判断したものを事業化した。	ヒアリングにおいて事業内容を精査した上で、新方策の提案を支援する。
③	新規の企画や効果の出た企画について学校間の情報共有を進める。	校長会等の機会を活用して情報共有を行い、各校の方策立案の参考とした。	新規の企画や効果の出た企画について学校への周知・普及を図る。

他地区の実況 (実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)

況議(会要質問状) 平成20年第1回定例会 「学力マニフェストとはどのようなものか」  
平成22年第2回定例会 「学校パワーアップ事業」の今後の見通しを問う。



# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	13-04-27	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	学校パワーアップ事業(未来を拓く子どもの育成)	部課名	教育委員会事務局指導室	課長名	津野		
		担当者名	小林・原田・杉山	内線	3389		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード(2年度)	01-12-03	未来を拓く子どもの育成(教育環境の整備)					
	01-12-03	未来を拓く子どもの育成(教育環境の整備)					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業 ( <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度 )		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和	20年度	根拠	学校教育ビジョン			
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	令和3年度	法令等	学校教育ビジョン推進プラン			
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内	<input type="radio"/> 都基準内	<input checked="" type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画		
行政評価事業体系	分野	II	子育て教育都市				
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成				
	施策	09	地域と連携した学校づくり				
目的	学校教育ビジョンー全力で育てます！未来社会の守護者たちーによる学校教育の実現に積極的に取り組むため、各校が特色ある学校づくりを推進することにより、学校の活力の向上や活性化が図られ、もって本区の教育の振興に資する。						
対象者等	区立全幼稚園・こども園及び小中学校						
内容	平成29年3月に荒川区学校教育ビジョンを策定し、学校教育ビジョンによる学校教育の実現に向けた積極的な取組の一環として、校長の学校経営方針を実現させるために、「学力向上マニフェスト」・「創造力あふれる教育の推進」・「未来を拓く子どもの育成」を通じて、校長の裁量を大幅に拡大し、各学校の活力の向上や活性化を図る。 「未来を拓く子どもの育成」については、個性や可能性を开花させる教育を一層充実させ、子どもの学びを引き出す教育環境を一層整えるため、学校の提案による優れた特色ある企画・実践に対して、校長の裁量を拡大して、教育効果を挙げる取組を行う。						
経過	平成19年3月 学校教育ビジョンー「教育の荒川区」宣言！ーを策定 平成20年4月 本事業開始 平成25年度 環境課が実施していた環境教育事業を統合し、指導室へ移管 平成29年3月 学校教育ビジョンー全力で育てます！未来社会の守護者たちーを策定（改訂） 平成30年2月 学校教育ビジョン 学びの推進プラン 第1期 平成30年度～平成32年度を策定						
必要性	荒川区学校教育ビジョンによる「校長の裁量を生かし、特色ある学校経営を推進する」ため、校長が十分にリーダーシップを発揮し、創意・工夫ある教育課程を編成して特色ある学校をつくる上で必要である。						
実施方法	（ <input type="radio"/> 一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員 ） ・各小中学校及び各幼稚園、こども園あて予算を再配当（令達）して事業を実施している。						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	① 学習習慣が身に付いている小学生の割合	49.7	49.1	50.5	51.5	55.0	区学力向上のための調査における意識調査の結果
	② 学習習慣が身に付いている中学生の割合	47.0	46.3	48.0	49.0	55.0	区学力向上のための調査における意識調査の結果
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
2年度	3年度						
重点的に推進	重点的に推進	各学校・幼稚園・こども園が学校教育ビジョンに基づいて、創意ある事業を展開するよう促す。					

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		17,180	17,740	17,686	17,740	19,928	20,621	20,934
決算額(2年度は見込み)		16,164	15,937	14,503	15,116	17,108	16,847	20,934
実績の推移	事項名(2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	講師謝金(各校宛令達)	4,581	報償費	講師謝金(各校宛令達)	4,657	報償費	講師謝金(各校宛令達)	6,007
旅費	視察等旅費(各校宛令達)	392	旅費	視察等旅費(各校宛令達)	591	旅費	視察等旅費(各校宛令達)	1,110
需用費	消耗品等(各校宛令達)	8,222	需用費	消耗品等(各校宛令達)	6,947	需用費	消耗品等(各校宛令達)	7,849
役務費	楽器運搬等(各校宛令達)	695	役務費	楽器運搬等(各校宛令達)	280	役務費	楽器運搬等(各校宛令達)	675
委託料	講演会等委託(各校宛令達)	653	委託料・使用料等	講演会等委託、会場使用料等(各校令達)	1,679	委託料・使用料等	講演会等委託、会場使用料等(各校令達)	2,410
使用料等	会場使用料等(各校宛令達)	360	備品購入費	備品購入(各校宛令達)	2,294	備品購入費	備品購入(各校宛令達)	2,185
備品購入費	備品購入(各校宛令達)	1,590	負担金補助等	大会参加費等(各校宛令達)	399	負担金補助等	大会参加費等(各校宛令達)	698

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
		給与関係費	1,061	1,663		602	地方税	0
物件費	11,791	11,784	▲7	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	120	0	▲120	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	5,197	5,063	▲134	使用料及び手数料	0	0	0	
減価償却費	0	0	0	その他	0	180	180	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	180	180	
賞与・退職給与引当金繰入額	59	96	37	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲18,228	▲18,426	▲198	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	18,228	18,606	378	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲18,228	▲18,426	▲198	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲18,228	▲18,426	▲198	

備考 行政費用では、需用費や備品購入費として物件費、次いで講師謝金等を始めとした補助費が多くなっている。

- 問題点・課題
- ・ 創意ある事業や方策を奨励・支援し、教育活動の活性化を促す視点が必要である。
  - ・ 学校間での情報共有を行い、相乗効果が得られる環境構築を目指す視点が必要である。
  - ・ 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて柔軟な事業執行を図る必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	新規方策にも取り組み、学校の教育活動を一層活性化させるよう促す。	新方策については、ヒアリングで内容を確認の上、指導・助言し、実施可能と判断したものを事業化した。	ヒアリングにおいて事業内容を精査した上で、新方策の提案を支援する。
②	他校の参考となる企画・提案の情報共有を進める。	校長会等の機会を活用して情報共有を行い、各学校の方策立案の参考とした。	新規の企画や教育効果の見られた企画について各学校への周知・普及を図る。
③			新型コロナウイルスの感染状況に応じて、児童生徒のみならず学校現場に負担がかからないよう、事業を進めていく。
他区の実況	(実施 0 区)	未実施 22 区	不明 0 区)

況議(会要旨) 平成20年第1回定例議会 「学力マニフェストとはどのようなものか」  
平成22年第2回定例議会 「学校パワーアップ事業の継続について」

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	13-04-28	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	学力向上共同調査研究費	部課名	教育委員会事務局指導室	課長名	津野		
		担当者名	廣井・原田	内線	3388		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-06-03	学力向上共同調査研究費					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和 20年度		根拠	小学校学習指導要領第1章総則総則第四指導			
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和3年度		法令等	計画の作成にあたって配慮すべき事項 2			
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	II	子育て教育都市				
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成				
	施策	01	確かな学力の定着・向上				
目的	区の教育の活性化を図るため、早稲田大学総合研究機構、区教育委員会、区立小・中学校が連携事業を実施し、荒川区の教育課題を分析するとともに、学力向上に向けた教育委員会の施策や学校経営等に対する提言をまとめる。						
対象者等	区内小・中学生						
内容	<p>令和2年度の研究項目は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来の科学者養成プログラム・理科教育</li> <li>・早稲田大学の講師による出前授業の実施</li> <li>・プログラミング教育</li> <li>・消費者教育</li> </ul> <p>また、過去には、学校図書館を活用した言語活動の充実に向けた提言、理科教育支援事業の推進、ティーチングアシスタント導入による学力向上の提言及び英語教育活性化のための参考資料の作成等を行った。</p>						
経過	平成20年度から開始 3年間ごとに協定を締結（20年度～22年度・23年度～25年度・26年度～28年度・29年度～元年度） 令和2年度に、2年度から4年度までの3年間の協定を締結した。						
必要性	学校教育ビジョンを受け、今後の施策運営の在り方や具体的な改善策について、さらなる前進をするために、第三者機関の協力を得て、学校単独では実施できない授業や研修等の事業を展開する上で必要がある。						
実施方法	（ <input checked="" type="radio"/> 直営）（直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 早稲田大学総合研究機構との連携事業						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	① 研究報告書（件）	1	1	1	1	1	報告事項数/研究事項数
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
2年度	3年度						
継続	継続	早稲田大学総合研究機構の専門性を生かし、新学習指導要領や学校教育ビジョンに基づく能力の育成など新規分野における研究も検討していく。					

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
決算額(2年度は見込み)		2,000	2,000	2,000	563	2,000	2,000	2,000
実績の推移	事項名(2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
負担金補助等	共同調査研究	2,000	負担金補助等	共同調査研究	2,000	負担金補助	共同調査研究	2,000

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
	行政費用	給与関係費	289	1,143	854		地方税	0	0
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	2,000	2,000	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	16	66	50	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 2,305	▲ 3,209	▲ 904	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	2,305	3,209	904	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 2,305	▲ 3,209	▲ 904	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 2,305	▲ 3,209	▲ 904	

備考

行政費用では、早稲田大学総合研究機構との共同調査のための負担金として補助費が多くなっている。

問題点・課題

- ・投資、消費者教育は授業後の協議会での意見を取り入れながら、内容の改善を進めている。内容の精選を中心に研究を進め、出前授業の質の向上を図る。
- ・体験的な学習の充実を図り、より高い教育効果を目指していく必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点を持ちつつ、事業を展開する必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	参加生徒が投資についてより理解を深められるよう、指導内容の工夫・改善を行う。	投資教育の出前授業を理論編と実践編を組み合わせて実施した。	引き続き、授業内容の改善を図り、参加生徒の将来設計に資する内容とする。
②	参加生徒の体験活動を充実させるため、プログラミング授業体験の充実を図る。	早稲田大学理工キャンパスツアーで、専門家によるプログラミング体験を実施した。参加生徒は主体的に取り組んだ。	内容を改善し、プログラミング体験の充実を図り、参加生徒にプログラミング的思考への興味・関心を高める。
③			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大学側及び学校への負担を考慮した事業展開を行う。

他地区の実況

(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)

況議会(要旨)問状

平成19年第4回定例会「全国学力調査の結果の分析について」  
平成20年第1回定例会「学力向上マニフェストについて」

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	13-04-29	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	算数・国語大好き事業	部課名	教育委員会事務局指導室	課長名	津野		
		担当者名	原田・相馬	内線	3388・3381		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-08-01	算数・国語大好き推進事業					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和 20年度		根拠	小学校学習指導要領第1章総則第四指導計画			
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和3年度年度		法令等	の作成にあたって配慮すべき事項 2（6）			
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅱ 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	01 確かな学力の定着・向上					
目的	小学校第3学年以上の習熟度別学習に加え、小学校第1・2学年時の算数科及びきめ細かい指導が必要な小学校第1学年時の国語科において、指導方法を工夫することにより、児童の算数及び国語に対する興味・関心を高め、主体的な学習活動の実施を一層推進し、児童の学ぶ力を高め、確かな学力の定着を図る。						
対象者等	1学級当たりの児童数が26名以上の学級に在籍する小学校第1・2学年						
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間講師は教員免許保有者を面接により対象学級に配置する。</li> <li>・令和2年度は17校が対象校となり、71学級に25名を配置している。</li> </ul>						
経過	平成20年度 事業として開始 平成26年度 対象となる全学級で実施 16校が対象校となり、53学級に24名を配置 平成27年度 17校が対象校となり、62学級に31名を配置 平成28年度 17校が対象校となり、60学級に27名を配置 平成29年度 15校が対象校となり、46学級に25名を配置 平成30年度 18校が対象校となり、45学級に28名を配置 令和元年度 16校が対象校となり、49学級に27名を配置						
必要性	基礎学力の確かな定着と個性や能力の伸長を図る教育を充実させるために、児童生徒の習熟の程度に応じたきめ細かな指導を充実させる必要がある。						
実施方法	（ <input checked="" type="radio"/> 直営）（直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input checked="" type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 教員免許状を有する者を時間講師として任用し、配置している。						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	① 区学力調査 全国の平均正答率との差（小6算数）	-1.7	+1.4	+2.7	+3.0	+3.0	
	② 区学力調査 全国の平均正答率との差（小6国語）	-0.8	+0.4	+0.8	+1.0	+2.0	
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
2年度	3年度						
推進	推進	算数、国語教育のより一層の充実を図り、学力向上に資する。					



予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		30,451	33,681	27,027	30,784	34,493	34,682	42,678
決算額(2年度は見込み)		28,566	33,178	26,312	28,758	30,067	28,615	42,678
実績の推移	事項名(2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度

予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	算数講師謝金	30,067	報償費	算数講師謝金	28,615	報酬	会計・臨時報酬(算・国)	34,871
	国語講師謝金			国語講師謝金		職員手当等	一般期末手当	5,922
						旅費	通勤費	1,885

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
	行政費用	給与関係費	1,447	2,078	631		地方税	0	0
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	30,067	28,615	▲1,452	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	80	120	40	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲31,594	▲30,813	781	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	31,594	30,813	▲781	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲31,594	▲30,813	781	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲31,594	▲30,813	781	

備考

行政費用では、講師に対する謝金として補助費が多くなっている。

問題点・課題

・児童の基礎学力が着実に向上するような授業の質を維持していく必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	分かりやすい授業、ねらいが明確な授業を行い、基礎学力の定着が図られるよう指導方法等について指導・助言を行う。	指導方法等について指導・助言を行い、区学力調査では一定の効果が見られた。	引き続き、指導の方法について注視し、必要に応じた指導・助言により、指導の質の維持・向上を図る。
②			
③			

他区の実況

(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)

議(要旨)問状

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	13-04-30	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事
事務事業名	小中一貫教育推進事業	部課名	教育委員会事務局指導室	課長名	津野	
		担当者名	廣井・原田	内線	3388	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-11-01	小中一貫教育推進事業				
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業	
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和	20年度	根拠	中学校学習指導要領第1章総則第4指導計画の作成にあたって配慮すべき事項2（14）		
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		令和3年度	法令等		
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内		<input type="radio"/> 都基準内	<input checked="" type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画
行政評価事業体系	分野	II	子育て教育都市			
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成			
	施策	01	確かな学力の定着・向上			
目的	3校による小中一貫教育の研究を推進し、研究の成果を区内の他地区へ還元していく。					
対象者等	児童・生徒・保護者・地域					
内容	<p>○荒川区学校教育ビジョンが目指す「未来を拓きたくましく生きる子ども」を目指し、第三中学校と汐入小学校及び汐入東小学校が共通の学力観、指導観に基づく継続的かつ一貫性のある指導で、確かな学力の定着・向上を図る。</p> <p>○教育活動の交流や施設の共同使用を積極的に進めるとともに、教員間の組織的な一体化を図り、小学校と中学校との円滑な接続を図る教育課程を整備する。そのことにより、地域と一体となった教育の実現を図る。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究発表会、体験入学・部活動体験・中学生による読み聞かせ・合唱交流・クリーニングプロジェクト・合同席書会・合同あいさつ運動・校内ハローワーク</li> </ul>					
経過	<p>平成19年度 「学校教育ビジョン事業」の一環として実施。 汐入小学校と第三中学校との間で、小中一貫教育の実施のための研究を行った。</p> <p>平成20年度 事業として開始。</p> <p>平成22年度 汐入東小学校を加えた。</p> <p>平成27年度 合同研究発表会開催</p>					
必要性	小学校と中学校との円滑な接続を図る教育課程を整備するとともに、継続的かつ一貫性のある指導により、確かな学力の定着・向上を図るための年間指導計画を整備し実践していくために、本事業の取組は必要である。					
実施方法	<input checked="" type="radio"/> 1直営 <input type="radio"/> 2直営 <input type="radio"/> 3直営 <input type="radio"/> 4直営 <input type="radio"/> 5直営 <input type="radio"/> 6直営 <input type="radio"/> 7直営 <input type="radio"/> 8直営 <input type="radio"/> 9直営 <input type="radio"/> 10直営 <input type="radio"/> 11直営 <input type="radio"/> 12直営 <input type="radio"/> 13直営 <input type="radio"/> 14直営 <input type="radio"/> 15直営 <input type="radio"/> 16直営 <input type="radio"/> 17直営 <input type="radio"/> 18直営 <input type="radio"/> 19直営 <input type="radio"/> 20直営 <input type="radio"/> 21直営 <input type="radio"/> 22直営 <input type="radio"/> 23直営 <input type="radio"/> 24直営 <input type="radio"/> 25直営 <input type="radio"/> 26直営 <input type="radio"/> 27直営 <input type="radio"/> 28直営 <input type="radio"/> 29直営 <input type="radio"/> 30直営 <input type="radio"/> 31直営 <input type="radio"/> 32直営 <input type="radio"/> 33直営 <input type="radio"/> 34直営 <input type="radio"/> 35直営 <input type="radio"/> 36直営 <input type="radio"/> 37直営 <input type="radio"/> 38直営 <input type="radio"/> 39直営 <input type="radio"/> 40直営 <input type="radio"/> 41直営 <input type="radio"/> 42直営 <input type="radio"/> 43直営 <input type="radio"/> 44直営 <input type="radio"/> 45直営 <input type="radio"/> 46直営 <input type="radio"/> 47直営 <input type="radio"/> 48直営 <input type="radio"/> 49直営 <input type="radio"/> 50直営 <input type="radio"/> 51直営 <input type="radio"/> 52直営 <input type="radio"/> 53直営 <input type="radio"/> 54直営 <input type="radio"/> 55直営 <input type="radio"/> 56直営 <input type="radio"/> 57直営 <input type="radio"/> 58直営 <input type="radio"/> 59直営 <input type="radio"/> 60直営 <input type="radio"/> 61直営 <input type="radio"/> 62直営 <input type="radio"/> 63直営 <input type="radio"/> 64直営 <input type="radio"/> 65直営 <input type="radio"/> 66直営 <input type="radio"/> 67直営 <input type="radio"/> 68直営 <input type="radio"/> 69直営 <input type="radio"/> 70直営 <input type="radio"/> 71直営 <input type="radio"/> 72直営 <input type="radio"/> 73直営 <input type="radio"/> 74直営 <input type="radio"/> 75直営 <input type="radio"/> 76直営 <input type="radio"/> 77直営 <input type="radio"/> 78直営 <input type="radio"/> 79直営 <input type="radio"/> 80直営 <input type="radio"/> 81直営 <input type="radio"/> 82直営 <input type="radio"/> 83直営 <input type="radio"/> 84直営 <input type="radio"/> 85直営 <input type="radio"/> 86直営 <input type="radio"/> 87直営 <input type="radio"/> 88直営 <input type="radio"/> 89直営 <input type="radio"/> 90直営 <input type="radio"/> 91直営 <input type="radio"/> 92直営 <input type="radio"/> 93直営 <input type="radio"/> 94直営 <input type="radio"/> 95直営 <input type="radio"/> 96直営 <input type="radio"/> 97直営 <input type="radio"/> 98直営 <input type="radio"/> 99直営 <input type="radio"/> 100直営 <input type="radio"/> 101直営 <input type="radio"/> 102直営 <input type="radio"/> 103直営 <input type="radio"/> 104直営 <input type="radio"/> 105直営 <input type="radio"/> 106直営 <input type="radio"/> 107直営 <input type="radio"/> 108直営 <input type="radio"/> 109直営 <input type="radio"/> 110直営 <input type="radio"/> 111直営 <input type="radio"/> 112直営 <input type="radio"/> 113直営 <input type="radio"/> 114直営 <input type="radio"/> 115直営 <input type="radio"/> 116直営 <input type="radio"/> 117直営 <input type="radio"/> 118直営 <input type="radio"/> 119直営 <input type="radio"/> 120直営 <input type="radio"/> 121直営 <input type="radio"/> 122直営 <input type="radio"/> 123直営 <input type="radio"/> 124直営 <input type="radio"/> 125直営 <input type="radio"/> 126直営 <input type="radio"/> 127直営 <input type="radio"/> 128直営 <input type="radio"/> 129直営 <input type="radio"/> 130直営 <input type="radio"/> 131直営 <input type="radio"/> 132直営 <input type="radio"/> 133直営 <input type="radio"/> 134直営 <input type="radio"/> 135直営 <input type="radio"/> 136直営 <input type="radio"/> 137直営 <input type="radio"/> 138直営 <input type="radio"/> 139直営 <input type="radio"/> 140直営 <input type="radio"/> 141直営 <input type="radio"/> 142直営 <input type="radio"/> 143直営 <input type="radio"/> 144直営 <input type="radio"/> 145直営 <input type="radio"/> 146直営 <input type="radio"/> 147直営 <input type="radio"/> 148直営 <input type="radio"/> 149直営 <input type="radio"/> 150直営 <input type="radio"/> 151直営 <input type="radio"/> 152直営 <input type="radio"/> 153直営 <input type="radio"/> 154直営 <input type="radio"/> 155直営 <input type="radio"/> 156直営 <input type="radio"/> 157直営 <input type="radio"/> 158直営 <input type="radio"/> 159直営 <input type="radio"/> 160直営 <input type="radio"/> 161直営 <input type="radio"/> 162直営 <input type="radio"/> 163直営 <input type="radio"/> 164直営 <input type="radio"/> 165直営 <input type="radio"/> 166直営 <input type="radio"/> 167直営 <input type="radio"/> 168直営 <input type="radio"/> 169直営 <input type="radio"/> 170直営 <input type="radio"/> 171直営 <input type="radio"/> 172直営 <input type="radio"/> 173直営 <input type="radio"/> 174直営 <input type="radio"/> 175直営 <input type="radio"/> 176直営 <input type="radio"/> 177直営 <input type="radio"/> 178直営 <input type="radio"/> 179直営 <input type="radio"/> 180直営 <input type="radio"/> 181直営 <input type="radio"/> 182直営 <input type="radio"/> 183直営 <input type="radio"/> 184直営 <input type="radio"/> 185直営 <input type="radio"/> 186直営 <input type="radio"/> 187直営 <input type="radio"/> 188直営 <input type="radio"/> 189直営 <input type="radio"/> 190直営 <input type="radio"/> 191直営 <input type="radio"/> 192直営 <input type="radio"/> 193直営 <input type="radio"/> 194直営 <input type="radio"/> 195直営 <input type="radio"/> 196直営 <input type="radio"/> 197直営 <input type="radio"/> 198直営 <input type="radio"/> 199直営 <input type="radio"/> 200直営 <input type="radio"/> 201直営 <input type="radio"/> 202直営 <input type="radio"/> 203直営 <input type="radio"/> 204直営 <input type="radio"/> 205直営 <input type="radio"/> 206直営 <input type="radio"/> 207直営 <input type="radio"/> 208直営 <input type="radio"/> 209直営 <input type="radio"/> 210直営 <input type="radio"/> 211直営 <input type="radio"/> 212直営 <input type="radio"/> 213直営 <input type="radio"/> 214直営 <input type="radio"/> 215直営 <input type="radio"/> 216直営 <input type="radio"/> 217直営 <input type="radio"/> 218直営 <input type="radio"/> 219直営 <input type="radio"/> 220直営 <input type="radio"/> 221直営 <input type="radio"/> 222直営 <input type="radio"/> 223直営 <input type="radio"/> 224直営 <input type="radio"/> 225直営 <input type="radio"/> 226直営 <input type="radio"/> 227直営 <input type="radio"/> 228直営 <input type="radio"/> 229直営 <input type="radio"/> 230直営 <input type="radio"/> 231直営 <input type="radio"/> 232直営 <input type="radio"/> 233直営 <input type="radio"/> 234直営 <input type="radio"/> 235直営 <input type="radio"/> 236直営 <input type="radio"/> 237直営 <input type="radio"/> 238直営 <input type="radio"/> 239直営 <input type="radio"/> 240直営 <input type="radio"/> 241直営 <input type="radio"/> 242直営 <input type="radio"/> 243直営 <input type="radio"/> 244直営 <input type="radio"/> 245直営 <input type="radio"/> 246直営 <input type="radio"/> 247直営 <input type="radio"/> 248直営 <input type="radio"/> 249直営 <input type="radio"/> 250直営 <input type="radio"/> 251直営 <input type="radio"/> 252直営 <input type="radio"/> 253直営 <input type="radio"/> 254直営 <input type="radio"/> 255直営 <input type="radio"/> 256直営 <input type="radio"/> 257直営 <input type="radio"/> 258直営 <input type="radio"/> 259直営 <input type="radio"/> 260直営 <input type="radio"/> 261直営 <input type="radio"/> 262直営 <input type="radio"/> 263直営 <input type="radio"/> 264直営 <input type="radio"/> 265直営 <input type="radio"/> 266直営 <input type="radio"/> 267直営 <input type="radio"/> 268直営 <input type="radio"/> 269直営 <input type="radio"/> 270直営 <input type="radio"/> 271直営 <input type="radio"/> 272直営 <input type="radio"/> 273直営 <input type="radio"/> 274直営 <input type="radio"/> 275直営 <input type="radio"/> 276直営 <input type="radio"/> 277直営 <input type="radio"/> 278直営 <input type="radio"/> 279直営 <input type="radio"/> 280直営 <input type="radio"/> 281直営 <input type="radio"/> 282直営 <input type="radio"/> 283直営 <input type="radio"/> 284直営 <input type="radio"/> 285直営 <input type="radio"/> 286直営 <input type="radio"/> 287直営 <input type="radio"/> 288直営 <input type="radio"/> 289直営 <input type="radio"/> 290直営 <input type="radio"/> 291直営 <input type="radio"/> 292直営 <input type="radio"/> 293直営 <input type="radio"/> 294直営 <input type="radio"/> 295直営 <input type="radio"/> 296直営 <input type="radio"/> 297直営 <input type="radio"/> 298直営 <input type="radio"/> 299直営 <input type="radio"/> 300直営 <input type="radio"/> 301直営 <input type="radio"/> 302直営 <input type="radio"/> 303直営 <input type="radio"/> 304直営 <input type="radio"/> 305直営 <input type="radio"/> 306直営 <input type="radio"/> 307直営 <input type="radio"/> 308直営 <input type="radio"/> 309直営 <input type="radio"/> 310直営 <input type="radio"/> 311直営 <input type="radio"/> 312直営 <input type="radio"/> 313直営 <input type="radio"/> 314直営 <input type="radio"/> 315直営 <input type="radio"/> 316直営 <input type="radio"/> 317直営 <input type="radio"/> 318直営 <input type="radio"/> 319直営 <input type="radio"/> 320直営 <input type="radio"/> 321直営 <input type="radio"/> 322直営 <input type="radio"/> 323直営 <input type="radio"/> 324直営 <input type="radio"/> 325直営 <input type="radio"/> 326直営 <input type="radio"/> 327直営 <input type="radio"/> 328直営 <input type="radio"/> 329直営 <input type="radio"/> 330直営 <input type="radio"/> 331直営 <input type="radio"/> 332直営 <input type="radio"/> 333直営 <input type="radio"/> 334直営 <input type="radio"/> 335直営 <input type="radio"/> 336直営 <input type="radio"/> 337直営 <input type="radio"/> 338直営 <input type="radio"/> 339直営 <input type="radio"/> 340直営 <input type="radio"/> 341直営 <input type="radio"/> 342直営 <input type="radio"/> 343直営 <input type="radio"/> 344直営 <input type="radio"/> 345直営 <input type="radio"/> 346直営 <input type="radio"/> 347直営 <input type="radio"/> 348直営 <input type="radio"/> 349直営 <input type="radio"/> 350直営 <input type="radio"/> 351直営 <input type="radio"/> 352直営 <input type="radio"/> 353直営 <input type="radio"/> 354直営 <input type="radio"/> 355直営 <input type="radio"/> 356直営 <input type="radio"/> 357直営 <input type="radio"/> 358直営 <input type="radio"/> 359直営 <input type="radio"/> 360直営 <input type="radio"/> 361直営 <input type="radio"/> 362直営 <input type="radio"/> 363直営 <input type="radio"/> 364直営 <input type="radio"/> 365直営 <input type="radio"/> 366直営 <input type="radio"/> 367直営 <input type="radio"/> 368直営 <input type="radio"/> 369直営 <input type="radio"/> 370直営 <input type="radio"/> 371直営 <input type="radio"/> 372直営 <input type="radio"/> 373直営 <input type="radio"/> 374直営 <input type="radio"/> 375直営 <input type="radio"/> 376直営 <input type="radio"/> 377直営 <input type="radio"/> 378直営 <input type="radio"/> 379直営 <input type="radio"/> 380直営 <input type="radio"/> 381直営 <input type="radio"/> 382直営 <input type="radio"/> 383直営 <input type="radio"/> 384直営 <input type="radio"/> 385直営 <input type="radio"/> 386直営 <input type="radio"/> 387直営 <input type="radio"/> 388直営 <input type="radio"/> 389直営 <input type="radio"/> 390直営 <input type="radio"/> 391直営 <input type="radio"/> 392直営 <input type="radio"/> 393直営 <input type="radio"/> 394直営 <input type="radio"/> 395直営 <input type="radio"/> 396直営 <input type="radio"/> 397直営 <input type="radio"/> 398直営 <input type="radio"/> 399直営 <input type="radio"/> 400直営 <input type="radio"/> 401直営 <input type="radio"/> 402直営 <input type="radio"/> 403直営 <input type="radio"/> 404直営 <input type="radio"/> 405直営 <input type="radio"/> 406直営 <input type="radio"/> 407直営 <input type="radio"/> 408直営 <input type="radio"/> 409直営 <input type="radio"/> 410直営 <input type="radio"/> 411直営 <input type="radio"/> 412直営 <input type="radio"/> 413直営 <input type="radio"/> 414直営 <input type="radio"/> 415直営 <input type="radio"/> 416直営 <input type="radio"/> 417直営 <input type="radio"/> 418直営 <input type="radio"/> 419直営 <input type="radio"/> 420直営 <input type="radio"/> 421直営 <input type="radio"/> 422直営 <input type="radio"/> 423直営 <input type="radio"/> 424直営 <input type="radio"/> 425直営 <input type="radio"/> 426直営 <input type="radio"/> 427直営 <input type="radio"/> 428直営 <input type="radio"/> 429直営 <input type="radio"/> 430直営 <input type="radio"/> 431直営 <input type="radio"/> 432直営 <input type="radio"/> 433直営 <input type="radio"/> 434直営 <input type="radio"/> 435直営 <input type="radio"/> 436直営 <input type="radio"/> 437直営 <input type="radio"/> 438直営 <input type="radio"/> 439直営 <input type="radio"/> 440直営 <input type="radio"/> 441直営 <input type="radio"/> 442直営 <input type="radio"/> 443直営 <input type="radio"/> 444直営 <input type="radio"/> 445直営 <input type="radio"/> 446直営 <input type="radio"/> 447直営 <input type="radio"/> 448直営 <input type="radio"/> 449直営 <input type="radio"/> 450直営 <input type="radio"/> 451直営 <input type="radio"/> 452直営 <input type="radio"/> 453直営 <input type="radio"/> 454直営 <input type="radio"/> 455直営 <input type="radio"/> 456直営 <input type="radio"/> 457直営 <input type="radio"/> 458直営 <input type="radio"/> 459直営 <input type="radio"/> 460直営 <input type="radio"/> 461直営 <input type="radio"/> 462直営 <input type="radio"/> 463直営 <input type="radio"/> 464直営 <input type="radio"/> 465直営 <input type="radio"/> 466直営 <input type="radio"/> 467直営 <input type="radio"/> 468直営 <input type="radio"/> 469直営 <input type="radio"/> 470直営 <input type="radio"/> 471直営 <input type="radio"/> 472直営 <input type="radio"/> 473直営 <input type="radio"/> 474直営 <input type="radio"/> 475直営 <input type="radio"/> 476直営 <input type="radio"/> 477直営 <input type="radio"/> 478直営 <input type="radio"/> 479直営 <input type="radio"/> 480直営 <input type="radio"/> 481直営 <input type="radio"/> 482直営 <input type="radio"/> 483直営 <input type="radio"/> 484直営 <input type="radio"/> 485直営 <input type="radio"/> 486直営 <input type="radio"/> 487直営 <input type="radio"/> 488直営 <input type="radio"/> 489直営 <input type="radio"/> 490直営 <input type="radio"/> 491直営 <input type="radio"/> 492直営 <input type="radio"/> 493直営 <input type="radio"/> 494直営 <input type="radio"/> 495直営 <input type="radio"/> 496直営 <input type="radio"/> 497直営 <input type="radio"/> 498直営 <input type="radio"/> 499直営 <input type="radio"/> 500直営 <input type="radio"/> 501直営 <input type="radio"/> 502直営 <input type="radio"/> 503直営 <input type="radio"/> 504直営 <input type="radio"/> 505直営 <input type="radio"/> 506直営 <input type="radio"/> 507直営 <input type="radio"/> 508直営 <input type="radio"/> 509直営 <input type="radio"/> 510直営 <input type="radio"/> 511直営 <input type="radio"/> 512直営 <input type="radio"/> 513直営 <input type="radio"/> 514直営 <input type="radio"/> 515直営 <input type="radio"/> 516直営 <input type="radio"/> 517直営 <input type="radio"/> 518直営 <input type="radio"/> 519直営 <input type="radio"/> 520直営 <input type="radio"/> 521直営 <input type="radio"/> 522直営 <input type="radio"/> 523直営 <input type="radio"/> 524直営 <input type="radio"/> 525直営 <input type="radio"/> 526直営 <input type="radio"/> 527直営 <input type="radio"/> 528直営 <input type="radio"/> 529直営 <input type="radio"/> 530直営 <input type="radio"/> 531直営 <input type="radio"/> 532直営 <input type="radio"/> 533直営 <input type="radio"/> 534直営 <input type="radio"/> 535直営 <input type="radio"/> 536直営 <input type="radio"/> 537直営 <input type="radio"/> 538直営 <input type="radio"/> 539直営 <input type="radio"/> 540直営 <input type="radio"/> 541直営 <input type="radio"/> 542直営 <input type="radio"/> 543直営 <input type="radio"/> 544直営 <input type="radio"/> 545直営 <input type="radio"/> 546直営 <input type="radio"/> 547直営 <input type="radio"/> 548直営 <input type="radio"/> 549直営 <input type="radio"/> 550直営 <input type="radio"/> 551直営 <input type="radio"/> 552直営 <input type="radio"/> 553直営 <input type="radio"/> 554直営 <input type="radio"/> 555直営 <input type="radio"/> 556直営 <input type="radio"/> 557直営 <input type="radio"/> 558直営 <input type="radio"/> 559直営 <input type="radio"/> 560直営 <input type="radio"/> 561直営 <input type="radio"/> 562直営 <input type="radio"/> 563直営 <input type="radio"/> 564直営 <input type="radio"/> 565直営 <input type="radio"/> 566直営 <input type="radio"/> 567直営 <input type="radio"/> 568直営 <input type="radio"/> 569直営 <input type="radio"/> 570直営 <input type="radio"/> 571直営 <input type="radio"/> 572直営 <input type="radio"/> 573直営 <input type="radio"/> 574直営 <input type="radio"/> 575直営 <input type="radio"/> 576直営 <input type="radio"/> 577直営 <input type="radio"/> 578直営 <input type="radio"/> 579直営 <input type="radio"/> 580直営 <input type="radio"/> 581直営 <input type="radio"/> 582直営 <input type="radio"/> 583直営 <input type="radio"/> 584直営 <input type="radio"/> 585直営 <input type="radio"/> 586直営 <input type="radio"/> 587直営 <input type="radio"/> 588直営 <input type="radio"/> 589直営 <input type="radio"/> 590直営 <input type="radio"/> 591直営 <input type="radio"/> 592直営 <input type="radio"/> 593直営 <input type="radio"/> 594直営 <input type="radio"/> 595直営 <input type="radio"/> 596直営 <input type="radio"/> 597直営 <input type="radio"/> 598直営 <input type="radio"/> 599直営 <input type="radio"/> 600直営 <input type="radio"/> 601直営 <input type="radio"/> 602直営 <input type="radio"/> 603直営 <input type="radio"/> 604直営 <input type="radio"/> 605直営 <input type="radio"/> 606直営 <input type="radio"/> 607直営 <input type="radio"/> 608直営 <input type="radio"/> 609直営 <input type="radio"/> 610直営 <input type="radio"/> 611直営 <input type="radio"/> 612直営 <input type="radio"/> 613直営 <input type="radio"/> 614直営 <input type="radio"/> 615直営 <input type="radio"/> 616直営 <input type="radio"/> 617直営 <input type="radio"/> 618直営 <input type="radio"/> 619直営 <input type="radio"/> 620直営 <input type="radio"/> 621直営 <input type="radio"/> 622直営 <input type="radio"/> 623直営 <input type="radio"/> 624直営 <input type="radio"/> 625直営 <input type="radio"/> 626直営 <input type="radio"/> 627直営 <input type="radio"/> 628直営 <input type="radio"/> 629直営 <input type="radio"/> 630直営 <input type="radio"/> 631直営 <input type="radio"/> 632直営 <input type="radio"/> 633直営 <input type="radio"/> 634直営 <input type="radio"/> 635直営 <input type="radio"/> 636直営 <input type="radio"/> 637直営 <input type="radio"/> 638直営 <input type="radio"/> 639直営 <input type="radio"/> 640直営 <input type="radio"/> 641直営 <input type="radio"/> 642直営 <input type="radio"/> 643直営 <input type="radio"/> 644直営 <input type="radio"/> 645直営 <input type="radio"/> 646直営 <input type="radio"/> 647直営 <input type="radio"/> 648直営 <input type="radio"/> 649直営 <input type="radio"/> 650直営 <input type="radio"/> 651直営 <input type="radio"/> 652直営 <input type="radio"/> 653直営 <input type="radio"/> 654直営 <input type="radio"/> 655直営 <input type="radio"/> 656直営 <input type="radio"/> 657直営 <input type="radio"/> 658直営 <input type="radio"/> 659直営 <input type="radio"/> 660直営 <input type="radio"/> 661直営 <input type="radio"/> 662直営 <input type="radio"/> 663直営 <input type="radio"/> 664直営 <input type="radio"/> 665直営 <input type="radio"/> 666直営 <input type="radio"/> 667直営 <input type="radio"/> 668直営 <input type="radio"/> 669直営 <input type="radio"/> 670直営 <input type="radio"/> 671直営 <input type="radio"/> 672直営 <input type="radio"/> 673直営 <input type="radio"/> 674直営 <input type="radio"/> 675直営 <input type="radio"/> 676直営 <input type="radio"/> 677直営 <input type="radio"/> 678直営 <input type="radio"/> 679直営 <input type="radio"/> 680直営 <input type="radio"/> 681直営 <input type="radio"/> 682直営 <input type="radio"/> 683直営 <input type="radio"/> 684直営 <input type="radio"/> 685直営 <input type="radio"/> 686直営 <input type="radio"/> 687直営 <input type="radio"/> 688直営 <input type="radio"/> 689直営 <input type="radio"/> 690直営 <input type="radio"/> 691直営 <input type="radio"/> 692直営 <input type="radio"/> 693直営 <input type="radio"/> 694直営 <input type="radio"/> 695直営 <input type="radio"/> 696直営 <input type="radio"/> 697直営 <input type="radio"/> 698直営 <input type="radio"/> 699直営 <input type="radio"/> 700直営 <input type="radio"/> 701直営 <input type="radio"/> 702直営 <input type="radio"/> 703直営 <input type="radio"/> 704直営 <input type="radio"/> 705直営 <input type="radio"/> 706直営 <input type="radio"/> 707直営 <input type="radio"/> 708直営 <input type="radio"/> 709直営 <input type="radio"/> 710直営 <input type="radio"/> 711直営 <input type="radio"/> 712直営 <input type="radio"/> 713直営 <input type="radio"/> 714直営 <input type="radio"/> 715直営 <input type="radio"/> 716直営 <input type="radio"/> 717直営 <input type="radio"/> 718直営 <input type="radio"/> 719直営 <input type="radio"/> 720直営 <input type="radio"/> 721直営 <input type="radio"/> 722直営 <input type="radio"/> 723直営 <input type="radio"/> 724直営 <input type="radio"/> 725直営 <input type="radio"/> 726直営 <input type="radio"/> 727直営 <input type="radio"/> 728直営 <input type="radio"/> 729直営 <input type="radio"/> 730直営 <input type="radio"/> 731直営 <input type="radio"/> 732直営 <input type="radio"/> 733直営 <input type="radio"/> 734直営 <input type="radio"/> 735直営 <input type="radio"/> 736直営 <input type="radio"/> 737直営 <input type="radio"/> 738直営 <input type="radio"/> 739直営 <input type="radio"/> 740直営 <input type="radio"/> 741直営 <input type="radio"/> 742直営 <input type="radio"/> 743直営 <input type="radio"/> 744直営 <input type="radio"/> 745直営 <input type="radio"/> 746直営 <input type="radio"/> 747直営 <input type="radio"/> 748直営 <input type="radio"/> 749直営 <input type="radio"/> 750直営 <input type="radio"/> 751直営 <input type="radio"/> 752直営 <input type="radio"/> 753直営 <input type="radio"/> 754直営 <input type="radio"/> 755直営 <input type="radio"/> 756直営 <input type="radio"/> 757直営 <input type="radio"/> 758直営 <input type="radio"/> 759直営 <input type="radio"/> 760直営 <input type="radio"/> 761直営 <input type="radio"/> 762直営 <input type="radio"/> 763直営 <input type="radio"/> 764直営 <input type="radio"/> 765直営 <input type="radio"/> 766直営 <input type="radio"/> 767直営 <input type="radio"/> 768直営 <input type="radio"/> 769直営 <input type="radio"/> 770直営 <input type="radio"/> 771直営 <input type="radio"/> 772直営 <input type="radio"/> 773直営 <input type="radio"/> 774直営 <input type="radio"/> 775直営 <input type="radio"/> 776直営 <input type="radio"/> 777直営 <input type="radio"/> 778直営 <input type="radio"/> 779直営 <input type="radio"/> 780直営 <input type="radio"/> 781直営 <input type="radio"/> 782直営 <input type="radio"/> 783直営 <input type="radio"/> 784直営 <input type="radio"/> 785直営 <input type="radio"/> 786直営 <input type="radio"/> 787直営 <input type="radio"/> 788直営 <input type="radio"/> 789直営 <input type="radio"/> 790直営 <input type="radio"/> 791直営 <input type="radio"/> 792直営 <input type="radio"/> 793直営 <input type="radio"/> 794直営 <input type="radio"/> 795直営 <input type="radio"/> 796直営 <input type="radio"/> 797直営 <input type="radio"/> 798直営 <input type="radio"/> 799直営 <input type="radio"/> 800直営 <input type="radio"/> 801直営 <input type="radio"/> 802直営 <input type="radio"/> 803直営 <input type="radio"/> 804直営 <input type="radio"/> 805直営 <input type="radio"/> 806直営 <input type="radio"/> 807直営 <input type="radio"/> 808直営 <input type="radio"/> 809直営 <input type="radio"/> 810直営 <input type="radio"/> 811直営 <input type="radio"/> 812直営 <input type="radio"/> 813直営 <input type="radio"/> 814直営 <input type="radio"/> 815直営 <input type="radio"/> 816直営 <input type="radio"/> 817直営 <input type="radio"/> 818直営 <input type="radio"/> 819直営 <input type="radio"/> 820直営 <input type="radio"/> 821直営 <input type="radio"/> 822直営 <input type="radio"/> 823直営 <input type="radio"/> 824直営 <input type="radio"/> 825直営 <input type="radio"/> 826直営 <input type="radio"/> 827直営 <input type="radio"/> 828直営 <input type="radio"/> 829直営 <input type="radio"/> 830直営 <input type="radio"/> 831直営 <input type="radio"/> 832直営 <input type="radio"/> 833直営 <input type="radio"/> 834直営 <input type="radio"/> 835直営 <input type="radio"/> 836直営 <input type="radio"/> 837直営 <input type="radio"/> 838直営 <input type="radio"/> 839直営 <input type="radio"/> 840直営 <input type="radio"/> 841直営 <input type="radio"/> 842直営 <input type="radio"/> 843直営 <input type="radio"/> 844直営 <input type="radio"/> 845直営 <input type="radio"/> 846直営 <input type="radio"/> 847直営 <input type="radio"/> 848直営 <input type="radio"/> 849直営 <input type="radio"/> 850直営 <input type="radio"/> 851直営 <input type="radio"/> 852直営 <input type="radio"/> 853直営 <input type="radio"/> 854直営 <input type="radio"/> 855直営 <input type="radio"/> 856直営 <input type="radio"/> 857直営 <input type="radio"/> 858直営 <input type="radio"/> 859直営 <input type="radio"/> 860直営 <input type="radio"/> 861直営 <input type="radio"/> 862直営 <input type="radio"/> 863直営 <input type="radio"/> 864直営 <input type="radio"/> 865直営 <input type="radio"/> 866直営 <input type="radio"/> 867直営 <input type="radio"/> 868直営 <input type="radio"/> 869直営 <input type="radio"/> 870直営 <input type="radio"/> 871直営 <input type="radio"/> 872直営 <input type="radio"/> 873直営 <input type="radio"/> 874直営 <input type="radio"/> 875直営 <input type="radio"/> 876直営 <input type="radio"/> 877直営 <input type="radio"/> 878直営 <input type="radio"/> 879直営 <input type="radio"/> 880直営 <input type="radio"/> 881直営 <input type="radio"/> 882直営 <input type="radio"/> 883直営 <input type="radio"/> 884直営 <input type="radio"/> 885直営 <input type="radio"/> 886直営 <input type="radio"/> 887直営 <input type="radio"/> 888直営 <input type="radio"/> 889直営 <input type="radio"/> 890直営 <input type="radio"/> 891直営 <input type="radio"/> 892直営 <input type="radio"/> 893直営 <input type="radio"/> 894直営 <input type="radio"/> 895直営 <input type="radio"/> 896直営 <input type="radio"/> 897直営 <input type="radio"/> 898直営 <input type="radio"/> 899直営 <input type="radio"/> 900直営 <input type="radio"/> 901直営 <input type="radio"/> 902直営 <input type="radio"/> 903直営 <input type="radio"/> 904直営 <input type="radio"/> 905直営 <input type="radio"/> 906直営 <input type="radio"/> 907直営 <input type="radio"/> 908直営 <input type="radio"/> 909直営 <input type="radio"/> 910直営 <input type="radio"/> 911直営 <input type="radio"/> 912直営 <input type="radio"/> 913直営 <input type="radio"/> 914直営 <input type="radio"/> 915直営 <input type="radio"/> 916直営 <input type="radio"/> 917直営 <input type="radio"/> 91					

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		4,408	3,660	3,626	3,281	3,416	3,444	3,420
決算額(2年度は見込み)		3,385	2,963	1,970	2,290	2,427	2,532	3,420
実績の推移	事項名(2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	講師謝金	852	報償費	講師謝金	957	報償費	講師謝金	1,014
旅費	研究大会参加旅費	0	旅費	研究大会参加旅費	0	旅費	研究大会参加旅費	330
需用費	資料集印刷、消耗品等	1,575	需用費	資料集印刷、消耗品等	1,575	需用費	資料集印刷、消耗品等	2,058
負担金補助等	研究大会参加費	0	負担金補助等	研究大会参加費	0	負担金補助等	研究大会参加費	18

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
		給与関係費	289	624		335	地方税	0
行政費用	物件費	1,575	1,575	0	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	852	958	106	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	16	36	20	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 2,732	▲ 3,193	▲ 461
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	2,732	3,193	461	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 2,732	▲ 3,193	▲ 461
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 2,732	▲ 3,193	▲ 461

備考

行政費用では、需用費として物件費が多く、次いで講師に対する謝金として補助費が多くなっている。

問題点・課題

- ・ 行事連携、教科連携、教職員の連携等、小中9年間をとおして、子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を明らかにしながら、小中一貫教育の特色を明確にする必要がある。また、研究の成果を区内の小中学校に広める必要がある。
- ・ より効果的な教育効果を目指し、生活指導面も含んだ情報共有を行っていく。
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点を持ち、実施の適否を検討していく必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	研究の成果を区内の学校に還元するとともに、小・中の連携を意識した教育がすべての学校で行われるよう指導・助言する。	小・中の連携を図って取り組んでいる内容を実践校が発表し、普及した。	小・中一貫教育の一層連携を図るため、取組を実施する。
②	生活指導上の情報を共有し、課題を解決するための意見交換等を行う機会を設ける。	生活指導主任研修や地域別生活指導連絡会で情報を共有し、子どもたちの安全指導等に当たった。	幼保小中交流会を1回から、2回に増やし、その内容も見直す。また、3校における連絡会を学期に1回開催させる。
③			学校と連携し、事業の実施については十分な検討を行う。

他区の実況	(実施 7 区)	未実施 12 区	不明 3 区)
小中一貫校実施状況(港：2校、品川：6校、渋谷：1校、杉並：1校、練馬：1校、足立：2校(以上施設一体型)、葛飾：2校)			

議(要旨)問状

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	13-04-32	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	生命尊重教育の充実(BLS)	部課名	教育委員会事務局指導室	課長名	津野		
		担当者名	廣井・康	内線	3386		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード(2年度)	01-10-01	生命尊重教育の充実					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業 ( <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度 )		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和	20年度	根拠	BLS教育救急救命講習会実施要項			
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		令和3年度	法令等			
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内	<input type="radio"/> 都基準内	<input checked="" type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="radio"/> 計画	<input checked="" type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系	分野	II	子育て教育都市				
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成				
	施策	01	確かな学力の定着・向上				
目的	救急救命の知識を身に付け生命を大切にする資質を養うため、毎年度、小学校1校をモデル校として指定し、一次救命処置(BLS)教育を実施する。						
対象者等	小・中学校のうち指定する学校						
内容	<p>○BLS教育 BLS (Basic Life Support) とは、一次救命処置と和訳され、日常生活で突発する緊急事態に際して即座に判断し、とるべき行動をまとめたプログラムである。突然、目の前で人が倒れた時、適切に対処することは容易なことではなく、児童期からの反復教育が有効と言われ、多くの先進国では学校や地域社会でBLSが教えられている。当区においても小学校で、このBLSを教育することで、緊急事態への対応と生命の尊厳を学習する機会を設けることとしている。</p> <p>○実施方法 小学校1校に、講師として日本医科大学付属病院の医師及び看護師を10名から20名程度招へいし、児童約60を対象に、緊急事態に即座に判断し、どのように行動すればよいか等をわかりやすく教える。令和2年度の実施予定校は尾久宮前小学校である。</p>						
経過	<p>平成20年度 原中学校において事業開始 平成21年度 第二峡田小学校、平成22年度 第三峡田小学校、 平成23年度 第七峡田小学校、平成24年度 尾久小学校、平成25年度 第二峡田小学校 平成26年度 瑞光小学校、平成27年度 第五峡田小学校、平成28年度 第二日暮里小学校 平成29年度 峡田小学校、平成30年度 第六瑞光小学校 令和元年度 第一日暮里小学校 令和2年度 尾久宮前小学校（予定）</p>						
必要性	救急救命の知識を身に付け、生命を大切にすることを養うために必要である。						
実施方法	<p>( <input checked="" type="radio"/> 直営 ) ( 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input checked="" type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員 ) 指導者(インストラクター)派遣先 日本医科大学心肺蘇生フォーラム(医師、看護師、研修医)</p>						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	① モデル校数(校)	1	1	1	1	1	
	② モデル校における参加人数(人)	52	32	53	60	60	
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
2年度	3年度						
継続	継続	児童期から、緊急事態への対応を学習し基礎知識を習得することは、将来に向けて大変有意義であり、また、生命の尊重を十分に認識することができる。					

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		485	518	563	563	563	570	570
決算額(2年度は見込み)		484	418	306	373	243	258	570
実績の推移	事項名(2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	講師謝金	72	報償費	講師謝金	72	報償費	講師謝金	152
使用料金	モデル人形レンタル料	171	使用料金	モデル人形レンタル料	186	使用料金	モデル人形レンタル料	418

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
	行政費用	給与関係費	1,158	416	▲742		地方税	0	0
	物件費	171	186	15	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	72	72	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	64	24	▲40	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲1,465	▲698	767	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	1,465	698	▲767	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲1,465	▲698	767	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲1,465	▲698	767	

備考

行政費用では、モデル人形レンタルのための使用料として物件費が発生している。

問題点・課題

毎年度、小学校1校をモデル校として指定のうえ実施してきたが、令和2年度で実施校は累計で12校となり、半数の小学校での実施となる。今後は未実施校での実施年度等を検討すると同時に、実施が難しい大規模校への対応についても検討していく必要がある。

なお、事業実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点を踏まえつつ、実施の適否も含め、総合的を行う必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	実施について全校及び保護者へ通知し、参観者を多く募ることにより、本事業の普及啓発を推進していく。	5、6年生を対象に、講師である日本医科大学付属病院と連携を取り、体験を重視した学習を行うことができた。	本年度も、実施校においては体験を重視した学習を行う。また、未実施校や大規模校での実施に向けた検討を行う。
②			新型コロナウイルス感染症対策についても、日本医科大学付属病院の助言を踏まえた上で事業展開を行う。
③			
他区の実況	(実施) 0 区	未実施) 22 区	不明) 0 区)
議(要旨)問状			



# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	13-04-36	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	幼児期からの芸術教育の充実	部課名	教育委員会事務局指導室	課長名	津野		
		担当者名	松下・廣井	内線	3388・3389		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-13-01	幼児期からの芸術教育の充実					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和	22年度	根拠	幼稚園教育要領			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内		<input type="radio"/> 都基準内	<input checked="" type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系	分野	II	子育て教育都市				
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成				
	施策	02	創意と工夫にあふれた教育の推進				
目的	幼児期から造形活動や表現活動に親しませながら本物の芸術に触れることにより、豊かな感性を育て、心で感じたり、思ったりしたことを表現する意欲を養い、創造性を育む等、人格形成に繋がることを目的とする。						
対象者等	区立幼稚園						
内容	<p>○第一線で活躍する芸術の専門家との出会いを演出する。 東京藝術大学と連携を図り、幼稚園で芸術教育を試行することにより、専門分野において第一線で活躍している魅力に富んだ大人との出会いがもたらす教育的効果が期待できる。</p> <p>○優れた素材や道具にふれ、豊かな表現力を育てる。 専門家の指導により、想像力を働かせて、何かを創ることの楽しさ、面白さを見いだすとともに、家庭で扱えないような素材や道具を思う存分に使うことにより、子どもたちの創造力や表現力を高める。</p> <p>○親子で芸術活動に取り組む場面を設ける。 親子で一緒に芸術活動に取り組む時間を設けることにより、共に作品づくりに取り組む中で親子の対話が生まれ、互いの新たな側面を見いだす等の教育的効果が期待できる。</p>						
経過	<p>平成22年度に事業を開始 平成22年度から平成26年度まで南千住第二幼稚園で実施 平成27年度から平成28年度まで町屋幼稚園で実施 平成29年度から平成30年度まで尾久幼稚園で実施 令和元年度から東日暮里幼稚園で実施</p> <p>（28年度）研究成果を他の幼稚園に還元するために、平成29年2月に関係所管課が東京藝術大学南千住施設で染物体験教室を実施した。南千住第三幼稚園、花の木幼稚園及び日暮里幼稚園が染物体験教室に参加し、荒川区内の他幼稚園にも芸術教育を広めることができた。</p>						
必要性	子供に豊かな感性を育て表現する意欲を養い、人格形成の基礎を養うため、東京藝術大学との連携により、多様な体験活動を実施し幼児期における芸術教育を実施することが必要である。						
実施方法	<p>（<input checked="" type="radio"/> 一部委託）（直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員）</p> <p>「幼児期における美術の造形と表現による教育の可能性についての実践的研究」に関する業務委託（国立大学法人東京芸術大学）</p>						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	① 体験的な活動の実施	3	3	3	3	3	実施回数
	② 教員に対する研修会の実施	3	3	3	3	3	実施回数
③ 親子芸術教室の実施	1	1	1	1	1	実施回数	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
2年度	3年度						
継続	継続	幼児期における芸術教育について、東京藝術大学と連携して開発する。					

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		1,387	1,387	1,387	1,387	1,387	1,413	1,413
決算額(2年度は見込み)		1,387	1,387	1,387	1,387	1,387	1,412	1,413
実績の推移	事項名(2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
委託料	研究委託	1,387	委託料	研究委託	1,412	委託料	研究委託	1,413

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		30年度	元年度	差額	勘定科目		30年度	元年度	差額
	行政費用	給与関係費		289	935	646	地方税		0	0
物件費			1,387	1,412	25	国庫支出金		0	0	0
維持補修費			0	0	0	都支出金		0	0	0
扶助費			0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0
補助費等			0	0	0	使用料及び手数料		0	0	0
減価償却費			0	0	0	その他		0	0	0
不納欠損・貸倒引当金繰入額			0	0	0	行政収入合計(a)		0	0	0
賞与・退職給与引当金繰入額			16	54	38	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲1,692	▲2,401	▲709
その他行政費用			0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0
行政費用合計(b)			1,692	2,401	709	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲1,692	▲2,401	▲709
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲1,692	▲2,401	▲709	

備考

行政費用では、大学への委託料として物件費が多くなっている。

問題点・課題

- ・実施する園だけでなく、他園でも教育効果を共有し、事業をより意義深いものにする視点が必要である。
- ・新型コロナウイルスの感染状況を踏まえつつ、実施の規模や方法も柔軟に検討を行う必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	広報記事を紹介し、本事業の価値を他園にも理解され、本活動が他園にも普及するようにする。	東日暮里幼稚園を実施園とし、3回の活動を行った。事業内容を冊子にまとめ、他園との情報共有を図った。	東京藝術大学と連携し、東日暮里幼稚園での2年目の活動の充実を図り、教育効果を共有していく。
②			新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、東京藝術大学の助言を踏まえながら、安全に考慮し効果ある事業を展開する。
③			

他区の実況

(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)

議(会)質(問)状

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	13-04-37	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	教育指導事務費	部課名	教育委員会事務局指導室	課長名	津野		
		担当者名	森戸・廣井・岩永・藤川	内線	3381		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-03-01	研修費（指導室）					
	01-04-01	教育事業費					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和	12年度	根拠	東京都教育委員会の事務処理の特例に関する条例			
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		3年度	法令等			
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内		<input checked="" type="radio"/> 都基準内	<input type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系	分野	Ⅱ	子育て教育都市				
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成				
	施策	05	魅力ある教師の育成				
目的	<p>&lt;研修費（指導室）&gt;教育講演会や研修を実施することで、教職員の資質の向上を図り、もって区教育行政の充実に寄与する。</p> <p>&lt;教育事業費&gt;区市町村立学校の都費負担教職員に臨時的欠員等が生じる場合であって、教職員の配置換え等による対応が困難な場合、会計年度任用職員を雇用することで、安定した学校経営を維持する。</p>						
対象者等	区立幼稚園・こども園、小中学校						
内容	<p>&lt;研修費（指導室）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育講演会</li> <li>・道徳教育研修会</li> <li>・プログラミング教育研修会</li> </ul> <p>&lt;教育事業費&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育休・病休代替会計年度任用職員に関わる報酬等</li> <li>・要保護・準要保護対応会計年度任用職員に関わる報酬等</li> <li>・高等学校入学者選抜に伴う成績一覧表調査委員会</li> <li>・スクール・サポート・スタッフに関する報酬等</li> </ul>						
経過	<p>【教育講演会講師】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度 柳田邦夫氏（作家） 「読書教育の意義」</li> <li>・令和元年度 山下敏雅氏（弁護士） 「児童虐待に関わる対応について」</li> </ul> <p>【スクール・サポート・スタッフ事業】</p> <p>東京都の「スクール・サポート・スタッフ配置支援事業」を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度 小学校1校にてモデル事業実施</li> <li>・令和元年度 試行範囲を拡大し、学級規模によって異なる小学校3校、中学校1校にてモデル事業実施</li> <li>・令和2年度 全小中学校34校にて実施</li> </ul>						
必要性	<p>・教育公務員の研修について、研修計画を立案し、実施に努めなければならない。・臨時的欠員等が生じた場合、安定した学校経営が困難となるため、代替職員を任用する必要がある。・教員の働き方改革のためにスクール・サポート・スタッフは必要である。</p>						
実施方法	<p>（<input checked="" type="radio"/> 直営）（直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input checked="" type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員）</p>						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	① 教育講演会参加者数	663	629	630	-	965	令和2年度は感染症予防のため実施せず
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
2年度	3年度						
継続	継続	区教育行政の充実及び安定した学校経営の維持のため継続する。					

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額						25,924	40,140	117,195
決算額(2年度は見込み)						17,160	31,017	117,195
実績の推移	事項名(2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
共済費	臨時職員(養護教諭)	525	共済費	臨時職員(養護教諭他)	669	報酬	会計・臨時報酬	81,181
賃金	臨時職員(養護教諭他)	14,866	賃金	臨時職員(養護教諭他)	29,975	職員手当等	一般期末手当	19,822
報償費	研修会講師謝金	1,369	報償費	研修会講師謝金	301	報償費	研修会講師謝礼	472
旅費	初任者研修等旅費	40	旅費	視察旅費	0	共済費	社会保険料	9,845
使用料等	施設使用料、バス借上げ料	361	使用料等	施設使用料	61	旅費	職員旅費	5,742
			需要費	研修用消耗品	11	需用費	研修用消耗品	72
						使用料及び賃借料	施設使用料	61

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
		給与関係費	1,061	1,455		394	地方税	0
物件費	15,791	30,716	14,925	国庫支出金	425	0	▲425	
維持補修費	0	0	0	都支出金	12,286	10,168	▲2,118	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	1,369	301	▲1,068	使用料及び手数料	0	0	0	
減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	12,711	10,168	▲2,543	
賞与・退職給与引当金繰入額	59	84	25	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲5,569	▲22,388	▲16,819	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	18,280	32,556	14,276	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲5,569	▲22,388	▲16,819	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲5,569	▲22,388	▲16,819	

備考 行政費用では、賃金として物件費が発生しており、このうち、臨時職員賃金等に係る費用等で10,168千円の交付金がある。

問題点・課題  
 ・教員の育成については、特にICTの分野において重要度が増しており、時代の進化に対応できる研修が必要とされている。  
 ・教育における諸問題に直結した講演会を設定し、教職員の質の維持・向上を図っていく必要がある。  
 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点も踏まえ、柔軟に事業を行う必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	タブレットPCの効果的な活用場面を情報教育研修会等を通じて推進し、プログラミング教育等を実施していく。	プログラミング教育研修会を小学校教員を対象に2回実施し、その背景や具体的な実践方法について、理解を深めた。	ICT教育推進教師研修会において、情報教育について取り上げ各校における推進を図っていく。
②	教育講演会の実施により、教職員の資質の向上を図ることで、区教育行政の質の向上を行っていく。	児童相談所の開設もあることから、児童虐待に精通した講師を招聘し、理解を深めた。	その時々に応じて必要なテーマを設定し、引き続き教職員の資質の向上を図っていく。
③			研修会等の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大の防止を念頭に、その実施を検討する。
他区の実況	(実施 22 区)	未実施 0 区	不明 0 区)

況議(要質問状)